

北海道縦貫自動車道（中川～天塩）

第1回 説明資料

令和4年12月23日

国土交通省 北海道開発局

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 地域の概況
3. 地域の状況と課題
4. 道路の状況と課題
5. 課題の整理
6. 意見聴取方法

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1) 北海道の高規格道路網

- 北海道縦貫自動車道は、函館市を起点として室蘭市、札幌市、岩見沢市、旭川市を経由し、稚内市に至る道路で、中川～天塩間はその一部区間。
 - 当該区間は、事業中の音威子府バイパスに続き、中川町から天塩町に至る延長約20kmの区間。



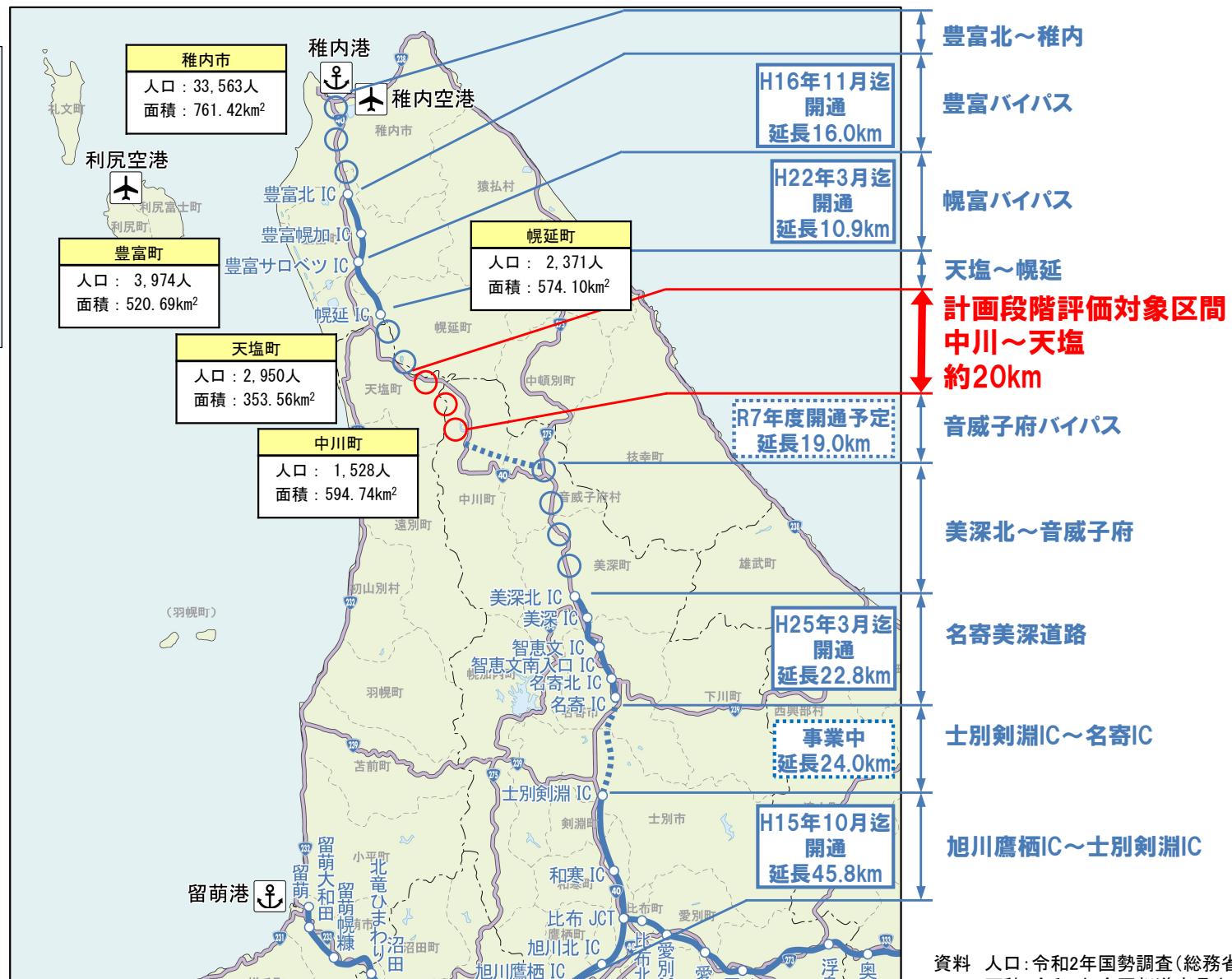
1-2) 北海道縦貫自動車道の進捗

- 北海道縦貫自動車道は、旭川鷹栖～士別剣淵間、名寄美深道路、幌富バイパス、豊富バイパスが平成24年度までに開通済み。
 - 士別剣淵～名寄間及び音威子府バイパスが事業中。

▼位置図



凡 例
開通区間
事業中区間
調査中区間



資料 人口:令和2年国勢調査(総務省)

面積:令和4年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)

1-3) 計画段階評価手続きの進め方

○地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画[概略ルート、構造等]について検討を行う。

今回

北海道
地方小委員会

【審議内容】
▼計画段階評価
手続きの進め方

■地域・道路の
現状と課題

▼意見聴取方法

意見聴取
(第1回)

○地域・道路の課題

◆意見聴取方法(案)
<ヒアリング>
対象者
・沿線自治体
・関係団体
<アンケート>
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

北海道地方小委員会

▼政策目標の設定 等

▼評価項目の設定 等

▼比較ルート案(複数案) 等

▼対応方針(案)
(概略ルート、構造等) 等

対応方針の決定 (概略ルート・構造等)

意見聴取

北海道地方小委員会

※各段階で隨時自治体と調整

2. 地域の概況

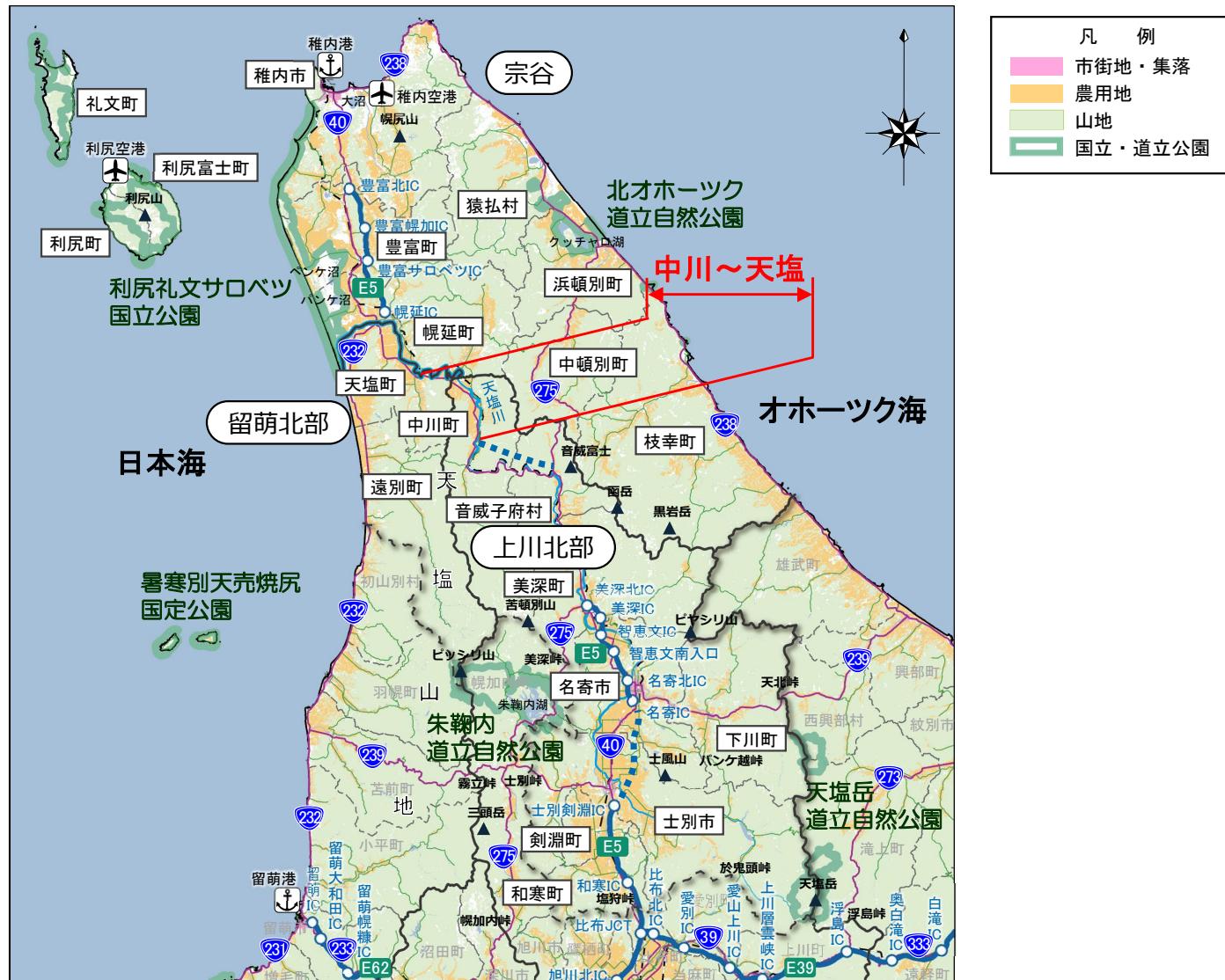
2-1) 地域の概況(土地利用)

- 道北地域は、日本海とオホーツク海に囲まれ、多くの国立公園や道立自然公園を有する自然豊かな地域。
- 国道40号と並行して天塩山地や天塩川が南北に縦貫しており、道路沿いに農用地が広く分布。

▼道北地域の構成



※1 道北地域は以下の市町村により構成すると定義
宗谷全域(稚内市・猿払村・浜頓別町)・
中頓別町・枝幸町・豊富町・
幌延町・礼文町・利尻町・利尻富士町)・
留萌北部(遠別町・天塩町)・
上川北部(名寄市・士別市・和寒町・剣淵町・
下川町・美深町・音威子府村・中川町)



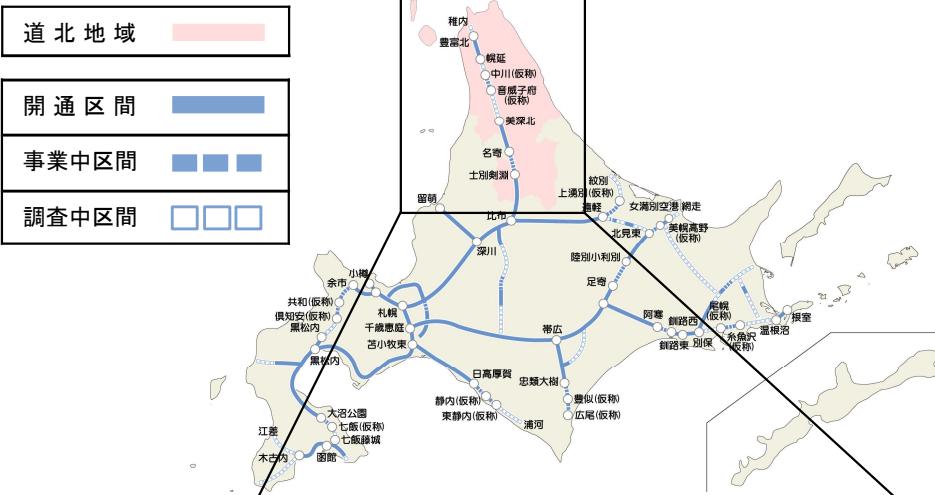
注:「市街地・集落」は用途地域の指定範囲。「農用地」は湿田・乾田・沼田・蓮田及び田・麦・陸稲・野菜・草地・芝地・りんご・梨・桃・ブドウ・茶・桐・はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地。「山地」は森林。

資料:「市街地・集落」「農用地」「山地」は「国土交通省国土政策局の国土数値情報(土地利用細分メッシュデータ平成28年度)」をもとに編集・加工
http://niftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt_L03-b.html

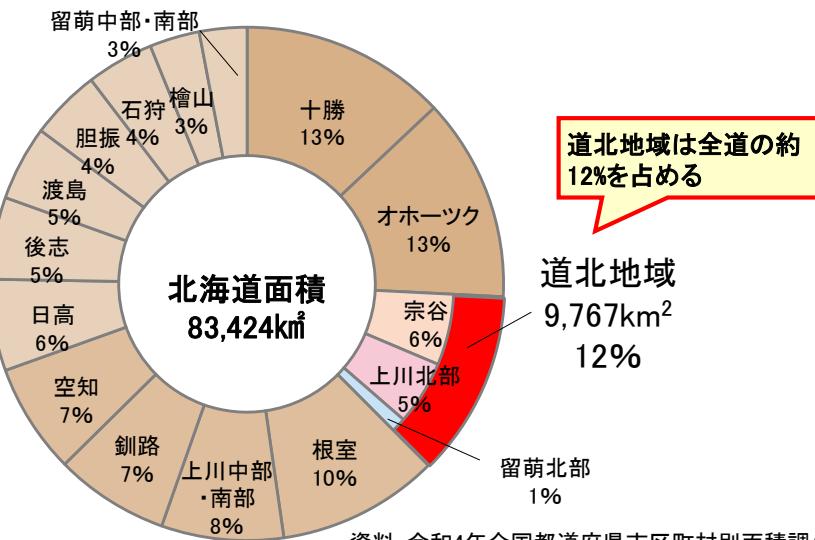
2-2) 地域の概況(面積)

- 道北地域は、宗谷全域、上川北部、留萌北部の3市15町2村で構成され、重要港湾である稚内港、国管理空港である稚内空港、地方管理空港である利尻空港を有する。
 - 道北地域の総面積は全道の約12%(9,767km²)を占め、都府県平均の約1.5倍で青森県と同程度の面積。

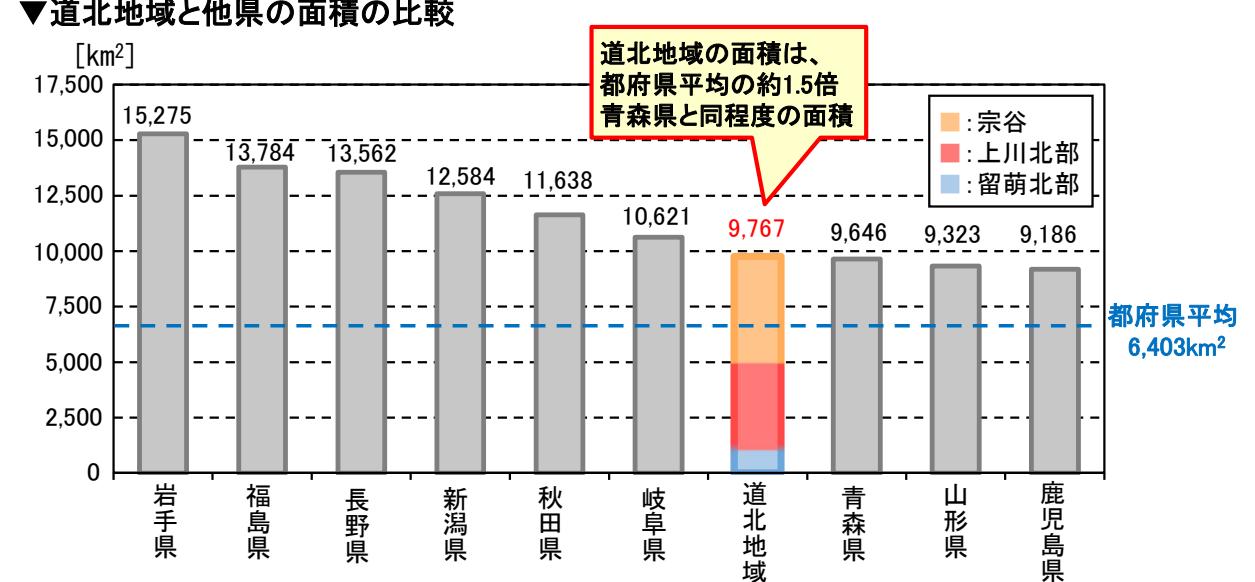
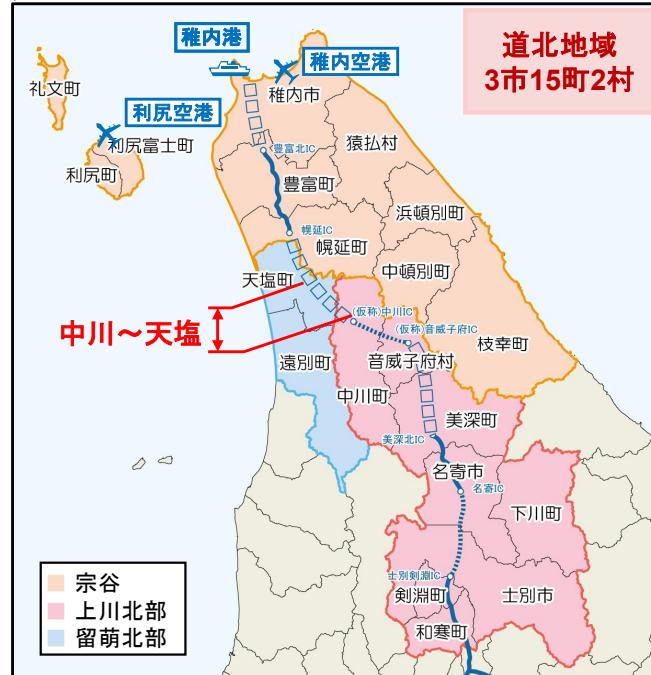
▼高規格道路網と道北地城市町村



▼振興局別面積割合



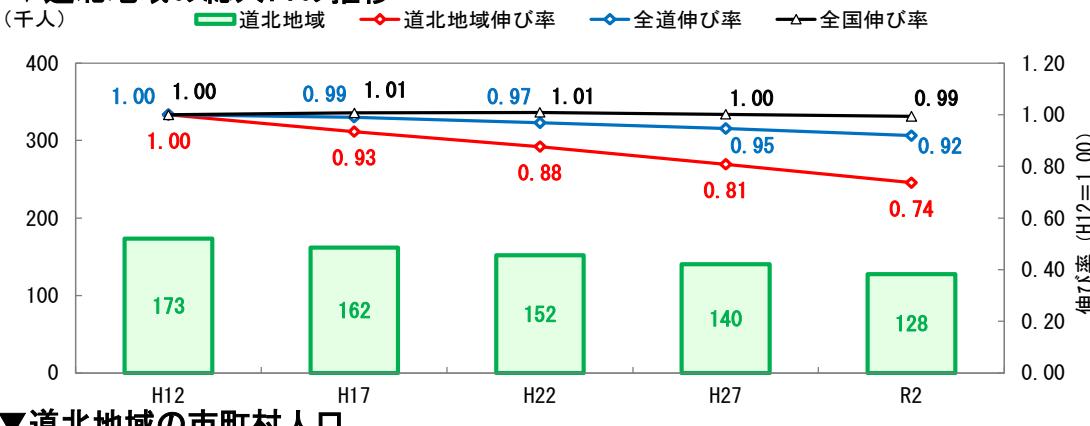
▼道北地域と他県の面積の比較



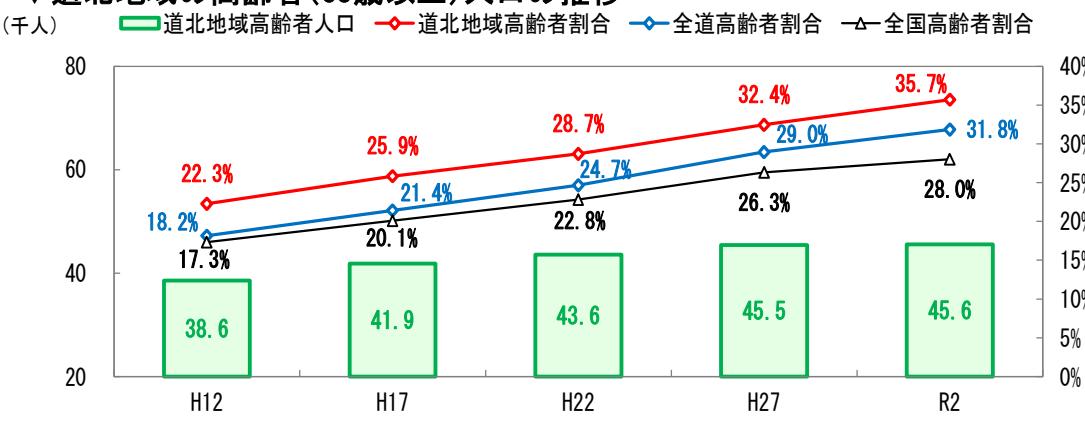
2-3) 地域の概況(人口)

- 道北地域の総人口は約13万人で、そのうち稚内市(約3万人)と名寄市(約3万人)に人口が集中。
- 全国と比較すると、人口減少が著しく、高齢者割合も全国平均を上回る水準で高齢化が進行。
- 全国と比較すると、特に40代以下の若い世代の人口割合が低い状況。

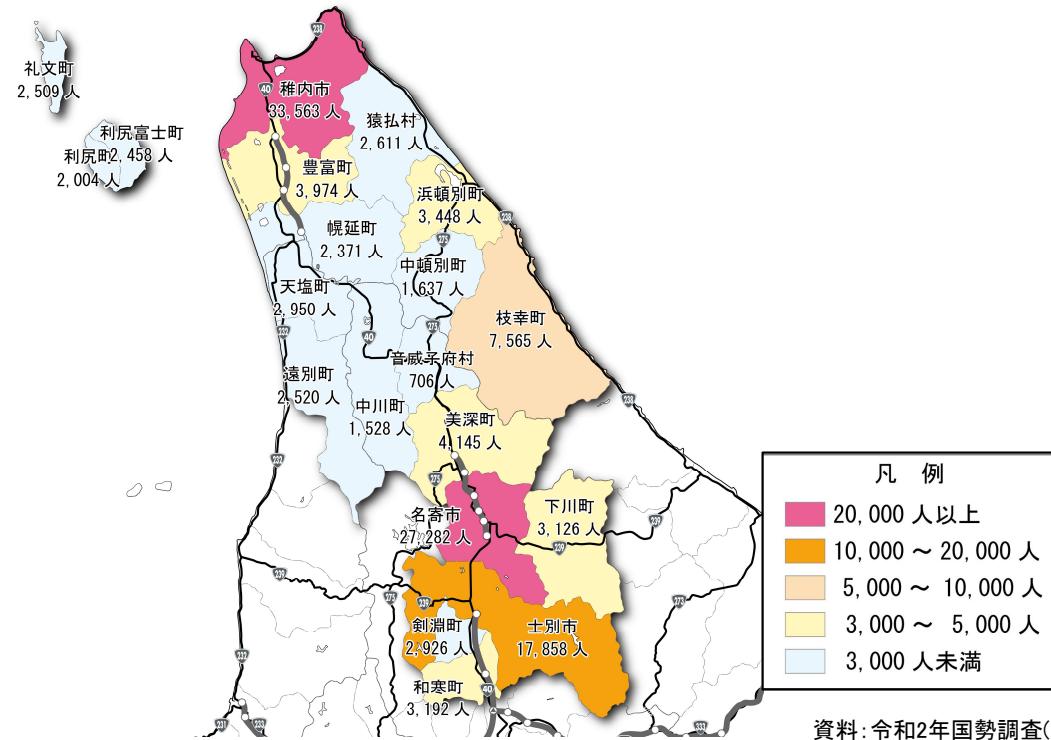
▼道北地域の総人口の推移



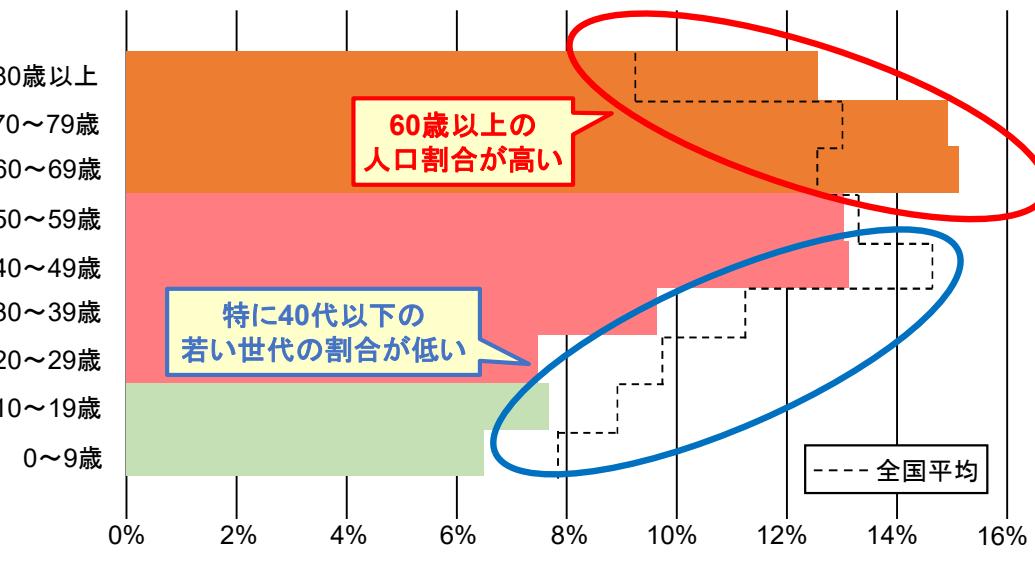
▼道北地域の高齢者(65歳以上)人口の推移



▼道北地域の市町村人口



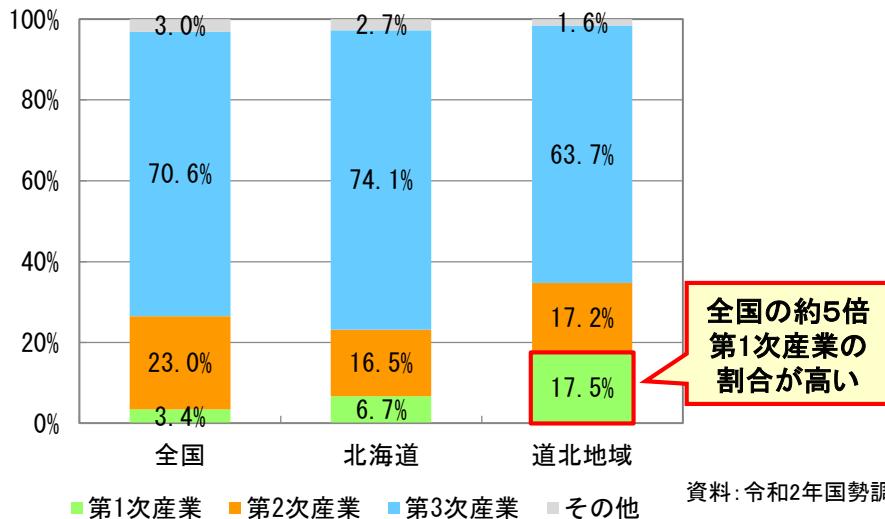
▼道北地域の年齢別人口構成



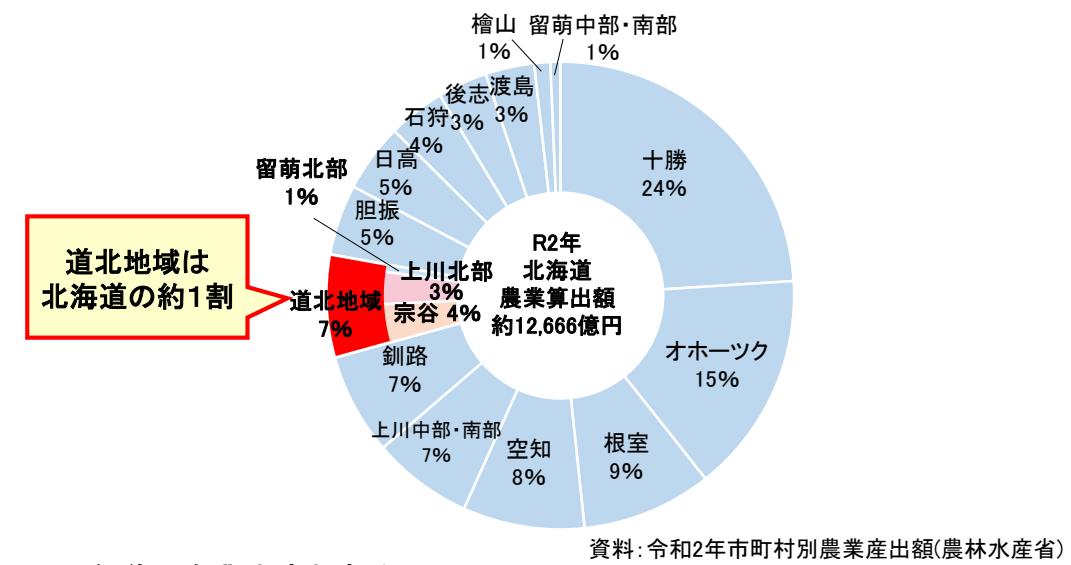
2-4) 地域の概況(産業)

- 道北地域の産業は、全国・北海道全体と比べ、第1次産業の割合が高い。
- 分野別就業人口の特化の度合いでは、北海道平均と比べて農林業と漁業が高い。
- 農業算出額は北海道の約1割、漁業生産額は北海道の約2割を占める。

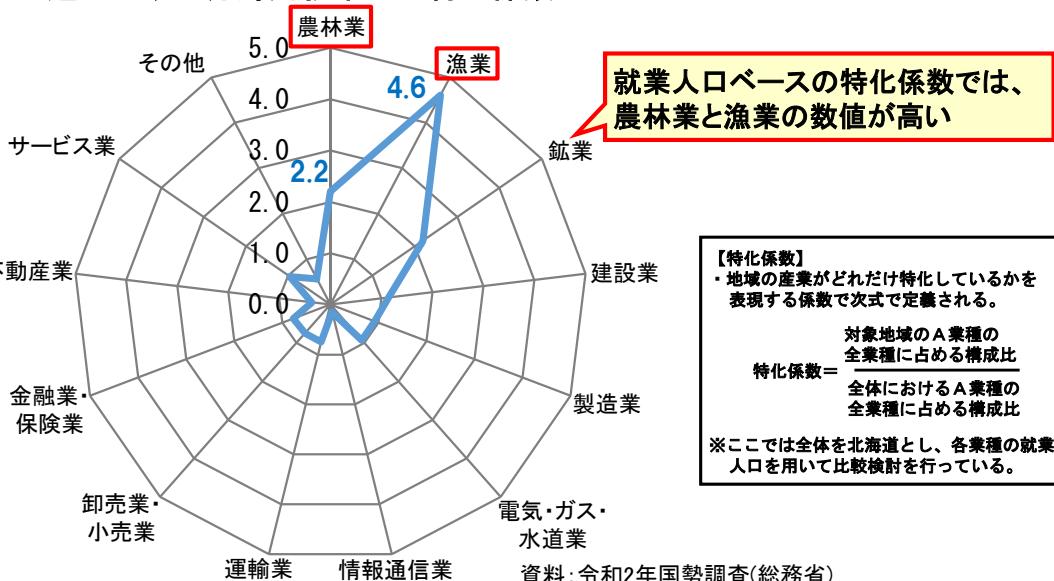
▼道北地域の就業人口割合



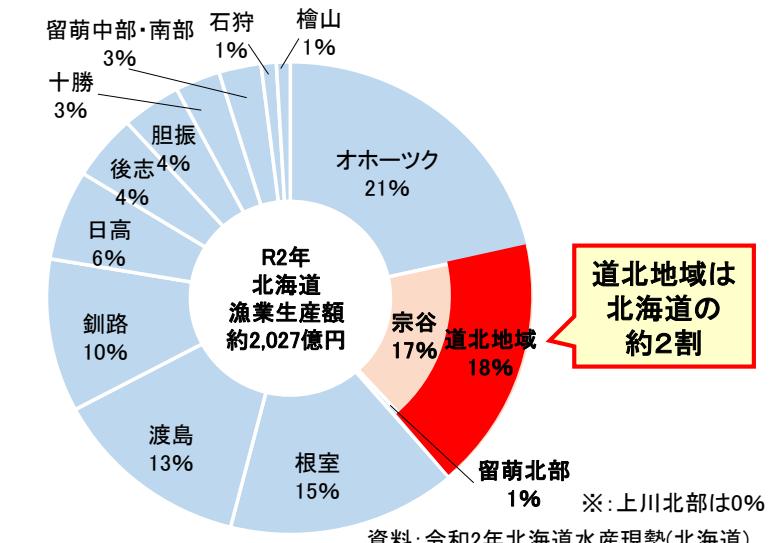
▼北海道の農業算出額割合



▼道北地域の分野別就業人口特化係数



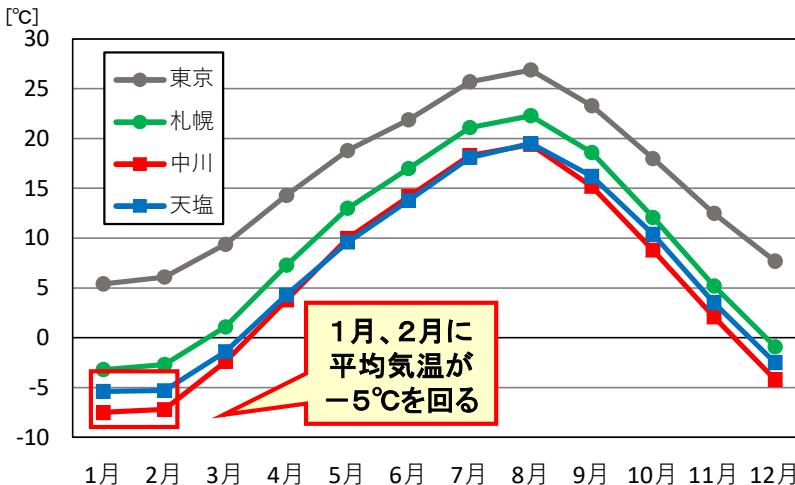
▼北海道の漁業生産額割合



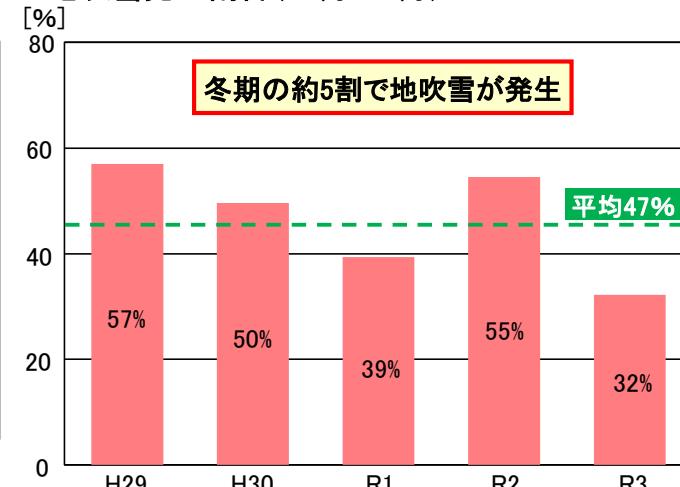
2-5) 地域の概況(気象)

- 道北地域は、冬期平均気温が-5°Cを下回る寒さの厳しい地域で、暴風雪警報の発令が増加傾向で推移しているほか、地吹雪の割合は冬期日数の約半数発生。
- 天塩川上流域の中川町では年間降水量が、上川北部では洪水警報・注意報発令日数が増加傾向。

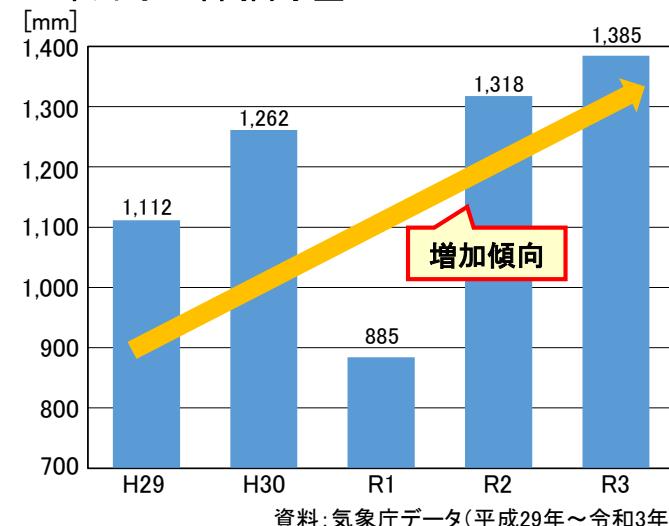
▼月別平均気温都市別比較



▼地吹雪発生割合(12月～3月)

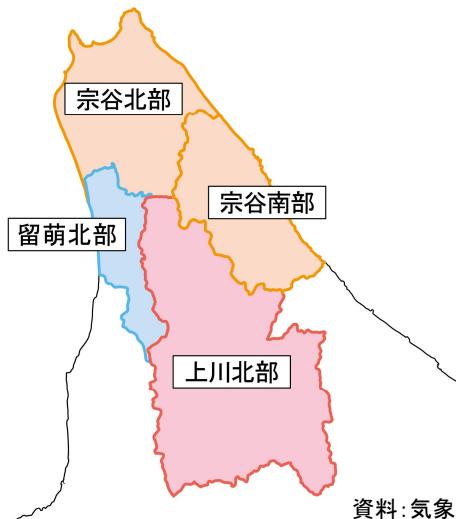


▼中川町の年間降水量

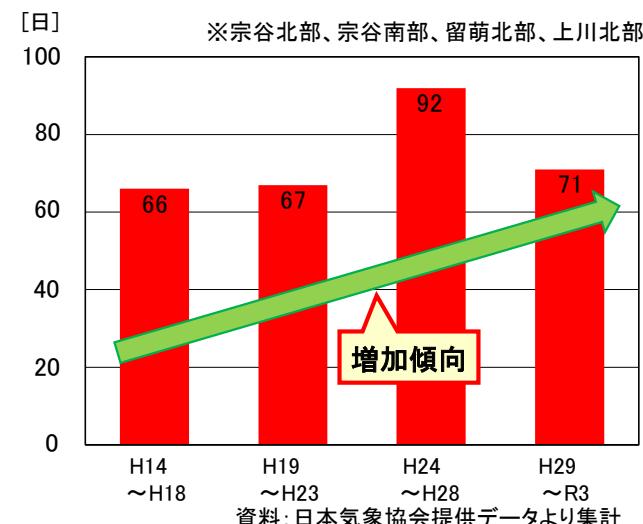


▼道北地域における気象警報・注意報発令状況

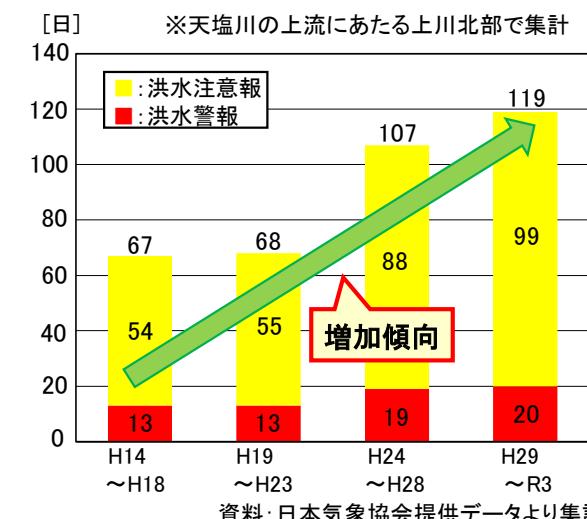
【気象警報・注意報の発表区域(道北地域)】



【暴風雪警報発令日数の推移(道北地域※)】



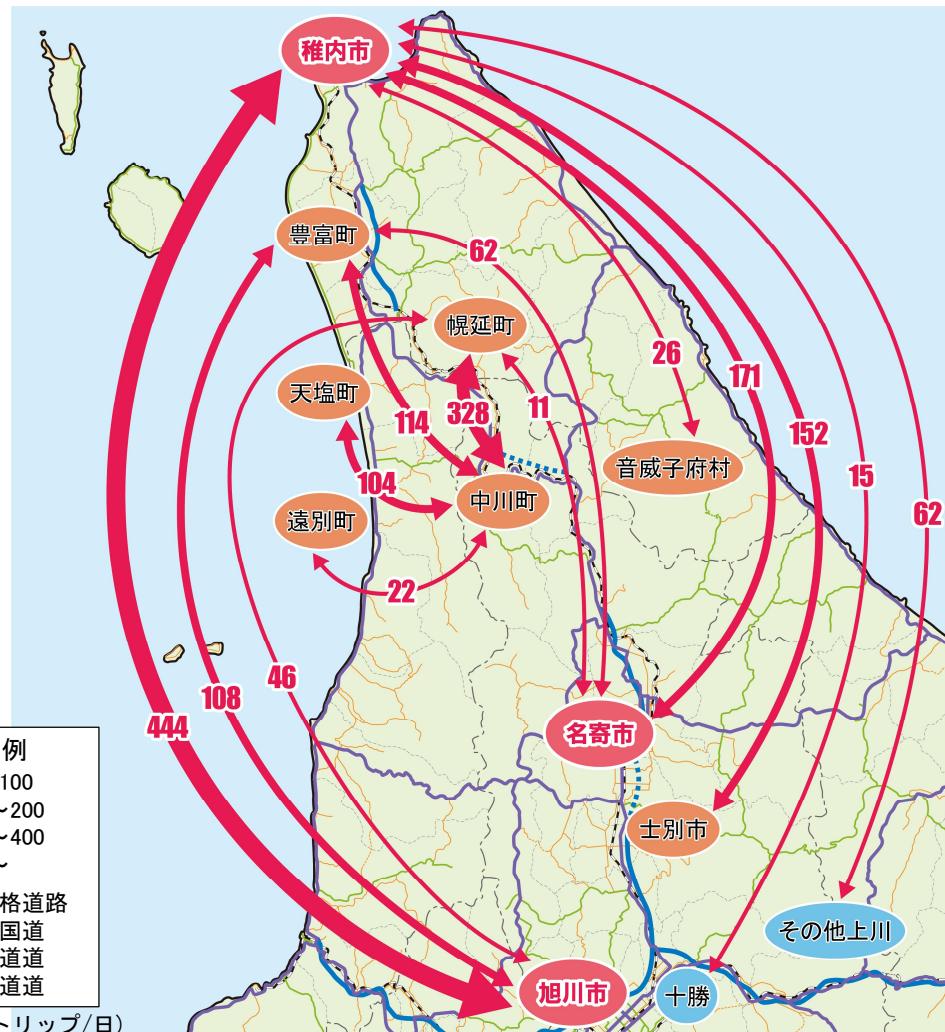
【洪水警報・洪水注意報発令日数の推移(上川北部※)】



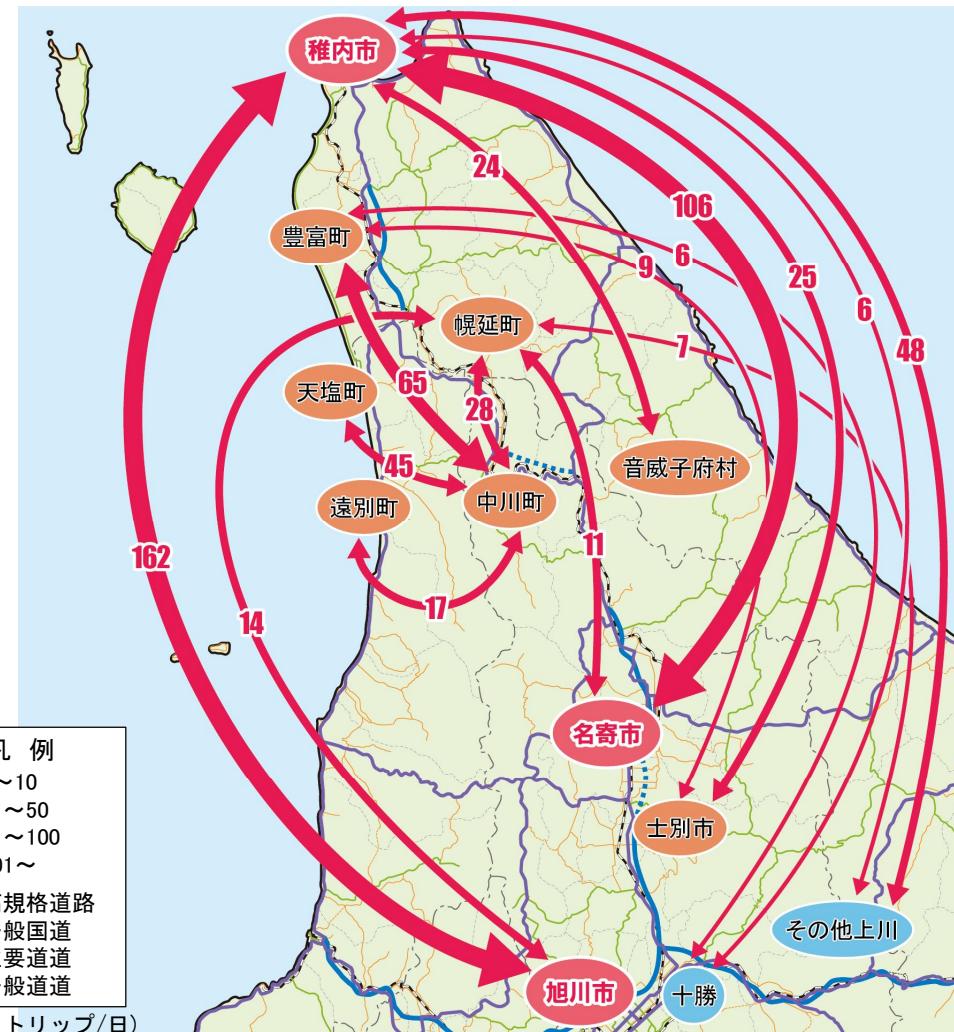
2-6) 地域の概況(交通流動)

- 当該区間を利用する自動車交通流動をみると、稚内市～旭川市間の流動が最も多く、次いで幌延町～中川町間、稚内市～名寄市間、稚内市～士別市間の流動が多い。
- また普通貨物車流動をみると、稚内市～旭川間の流動が最も多く、次いで稚内市～名寄市間の流動が多い。

▼国道40号 中川町～天塩町間の自動車利用OD



▼国道40号 中川町～天塩町間の普通貨物車OD



2-7) 地域の概況(稚内港)

- 我が国最北の重要港湾である稚内港は、道北地域の産業・生活に関わる流通拠点であり、貨物取扱量の推移も増加傾向で、離島(利尻島・礼文島)との連絡拠点としても重要な役割を担っている。
- 稚内港に移入・輸入された石油製品(ガソリン等)は取扱貨物量の約6割を占め、宗谷地域や上川北部等に農水産業機械の燃料等として陸送。

▼稚内港の整備状況と発着航路

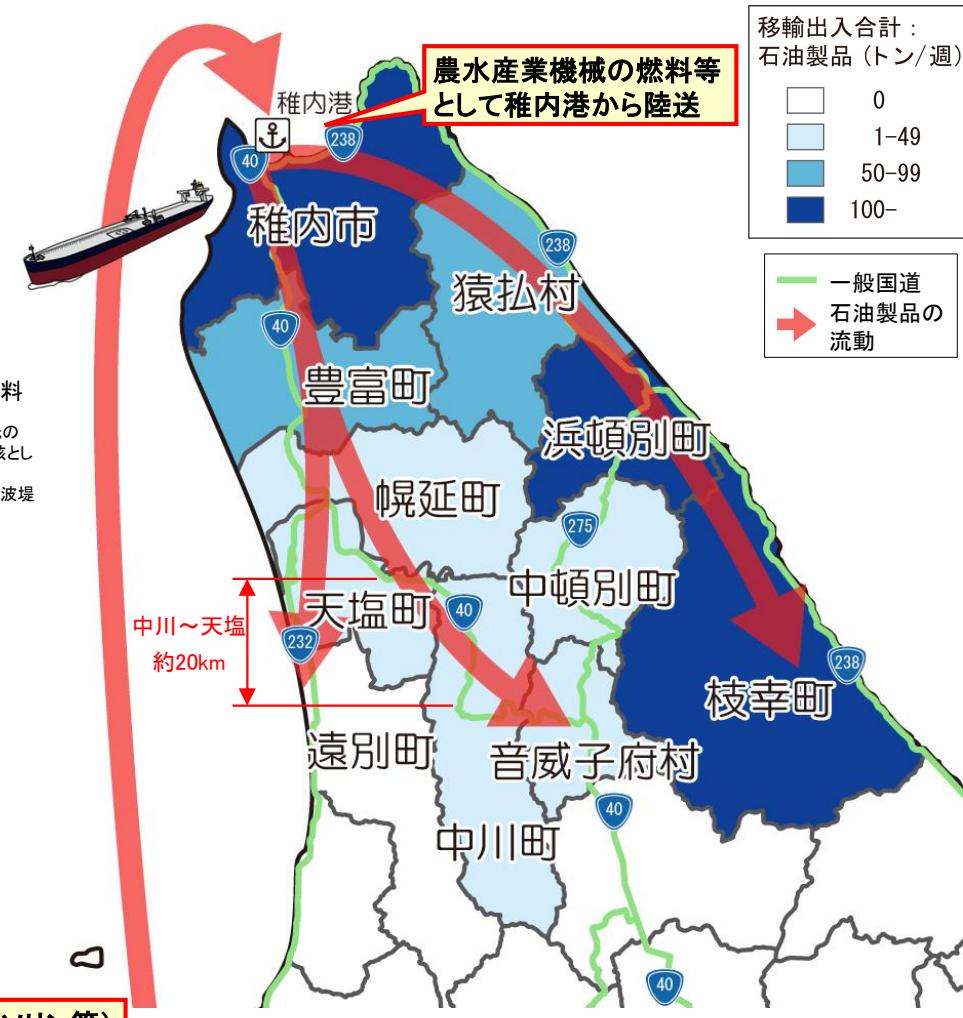


年	稚内港の沿革
M18	稚内港開設
S32	「重要港湾」指定
H13	北防波堤ドームが「北海道遺産」に認定
H19	稚内港が「みなとオアシス」に登録
H20	国際・国内フェリーターミナル供用
H23	日本海側拠点港に選定
H30	クルーズ船対応施設共用

資料:稚内市HP資料

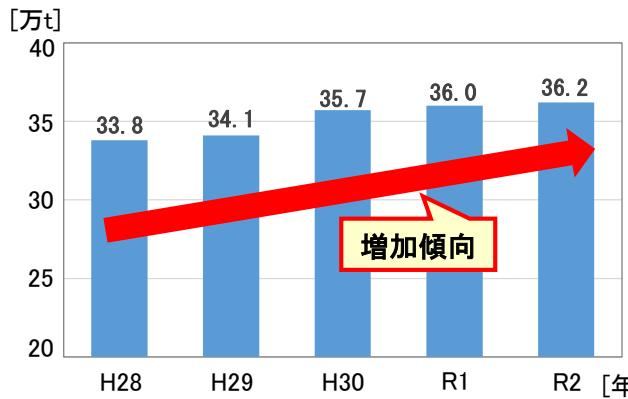
注)「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進。
主な施設は、稚内副港市場、稚内駅ビル、北防波堤ドーム等

▼稚内港からの石油製品の流动

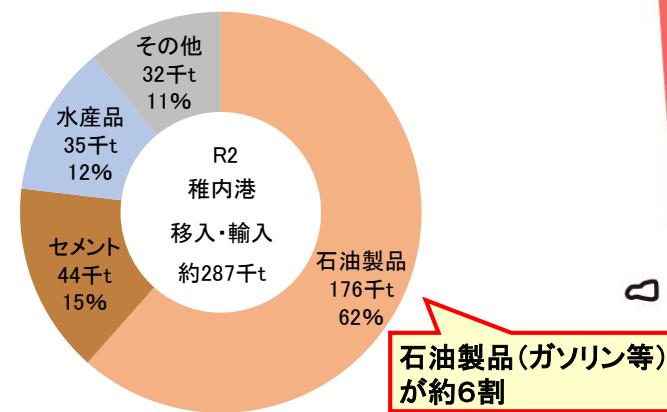


資料:港湾貨物利用実態調査(平成24年11月)
※調査期間:H24.11.5 - H24.11.11

▼稚内港の貨物取扱量



▼稚内港に移入・輸入される取扱貨物



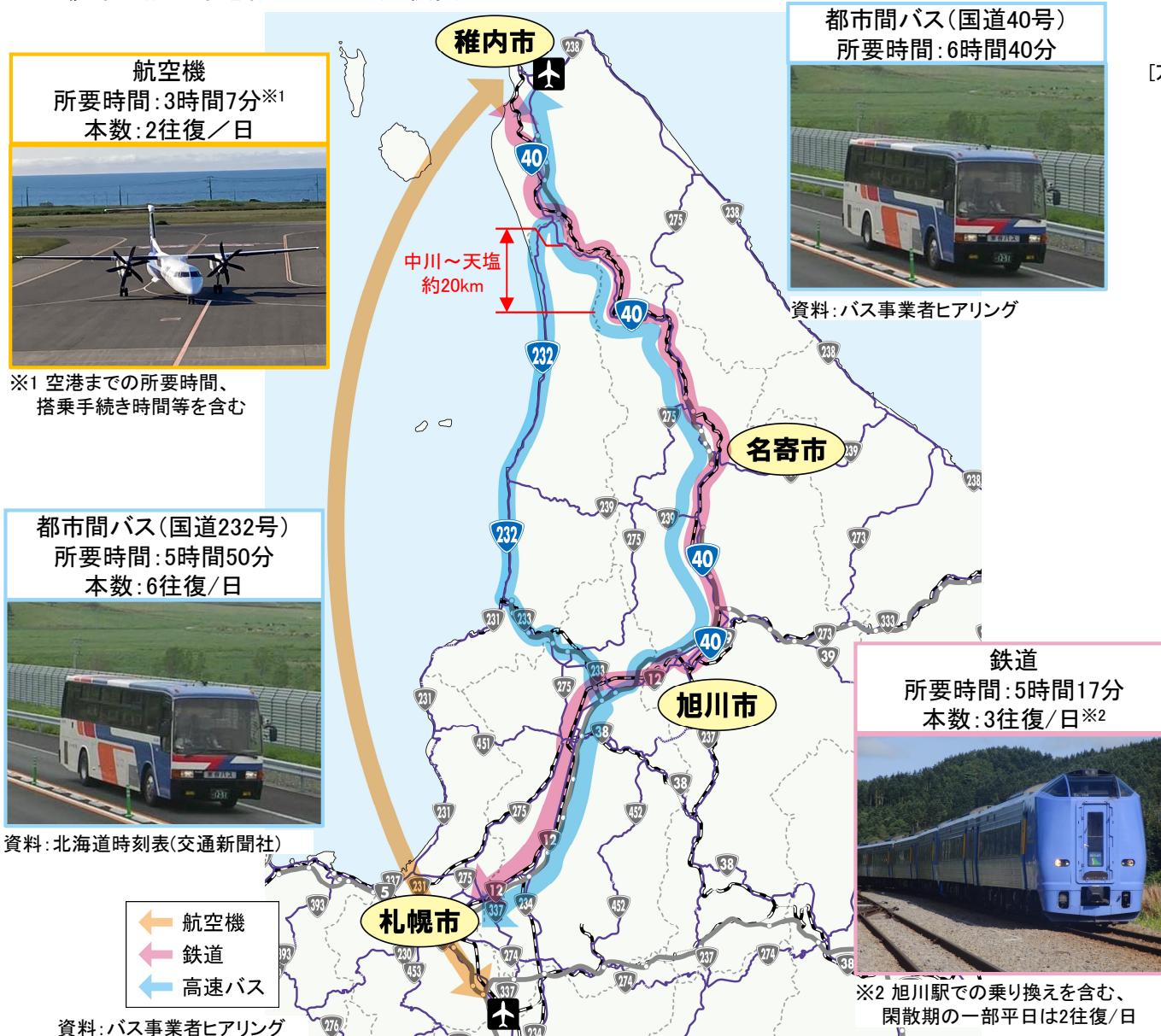
出典: 令和2年港湾統計年報 (国土交通省)

出典: 平成28年～令和2年港湾統計年報 (国土交通省)

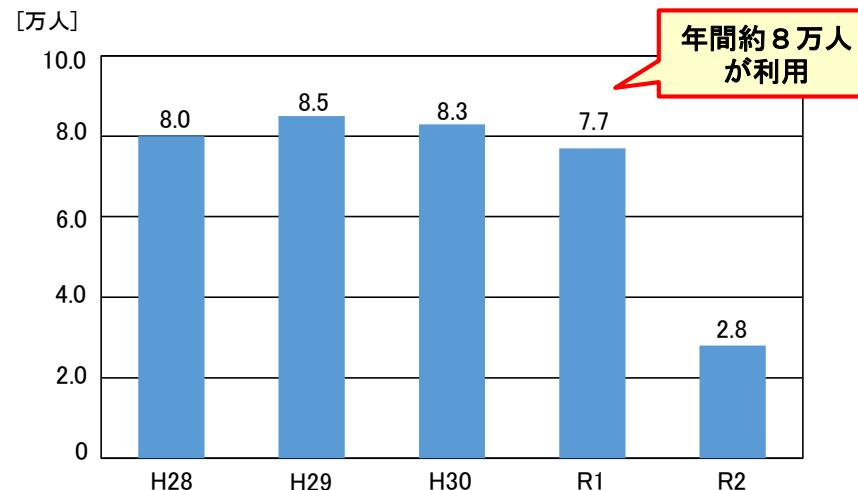
2-8) 地域の概況(公共交通)

- 札幌市と稚内市を結ぶ公共交通機関は、航空機・鉄道・都市間バスがあり、鉄道と都市間バスで約8割を占める。
- 都市間バスは国道232号及び国道40号を通行しており、年間約8万人が利用している状況。

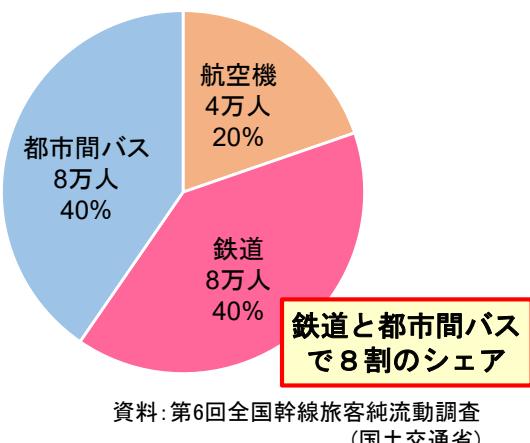
▼札幌市と稚内市を結ぶ公共交通機関



▼都市間バス(札幌市～稚内市間)の利用者数の推移



▼札幌市と稚内市を結ぶ公共交通機関のシェア

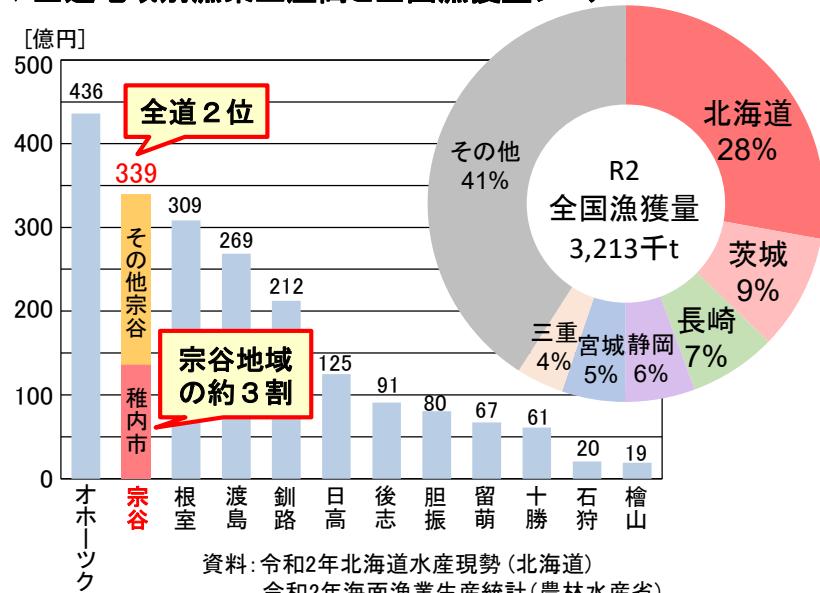


3. 地域の状況と課題

3-1) 地域の状況と課題(農水産業①)

- 宗谷地域は全道2位の漁業生産高を誇り、稚内市は宗谷地域の約3割を占める水産業が盛んな地域。
- 特にほたての漁業生産高は稚内市の約4割を占めており、道内産ほたての輸出量も増加傾向。
- 宗谷地域の水産品は、道内の加工場のほか、新千歳空港や苫小牧港へ陸送後、全国・海外へ出荷されるが、国道40号中川～天塩の狭小幅員区間の連続に伴う輸送時の速達性や安定性・安全性が課題。

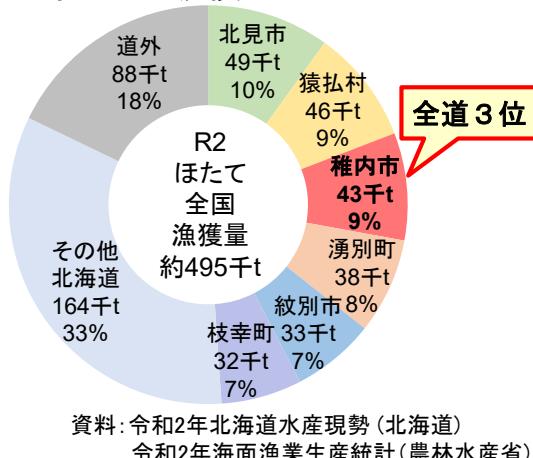
▼全道地域別漁業生産高と全国漁獲量シェア



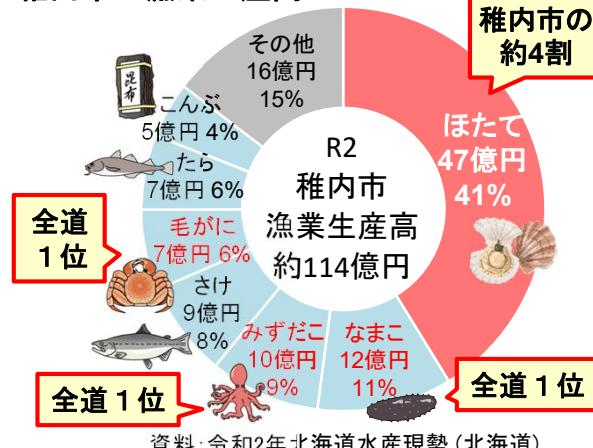
▼稚内市からのほたて輸送ルート



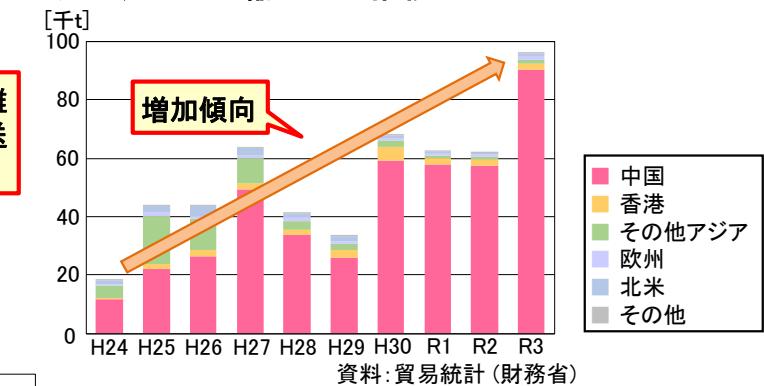
▼全国ほたて漁獲量



▼稚内市の漁業生産高



▼道内産ほたて輸出量の推移



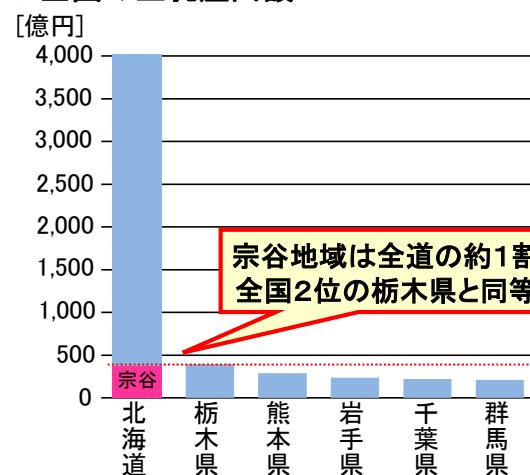
■地域の声<物流事業者>

- ・国道40号中川～天塩間は、幅員狭小区間が連続しており大型車同士のすれ違い時に危険を感じる。
- ・稚内市からの水産品輸送は、長時間輸送とならざるを得ず、速達性向上による品質向上や輸送効率化が課題である。

3-2) 地域の状況と課題(農水産業②)

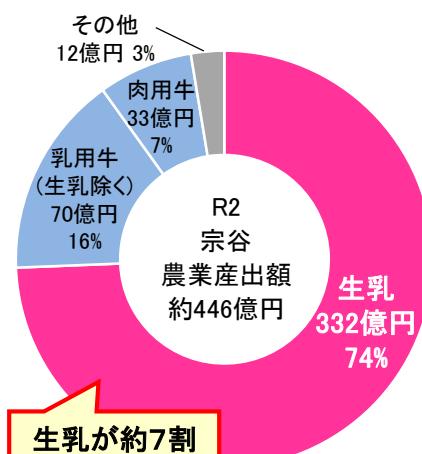
- 北海道の生乳産出額は他都府県より突出しており、宗谷地域の農業産出額の約7割を占める酪農が盛んな地域。また、乳製品の生産が盛んで宗谷はバターと脱脂粉乳の全国生産量の1割を占めている状況。
- 乳製品は、毎日、札幌市・旭川市の物流拠点や苫小牧港から全国へ輸送され、乳用牛の餌となる穀物飼料は幌延町の倉庫へ輸送され各農家に配送されているが、吹雪や吹き溜まりによる速達・安全性の低下が課題。

▼全国の生乳産出額



資料:令和2年生産農業所得統計(農林水産省)
令和2年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

▼宗谷地域の農業産出額シェア



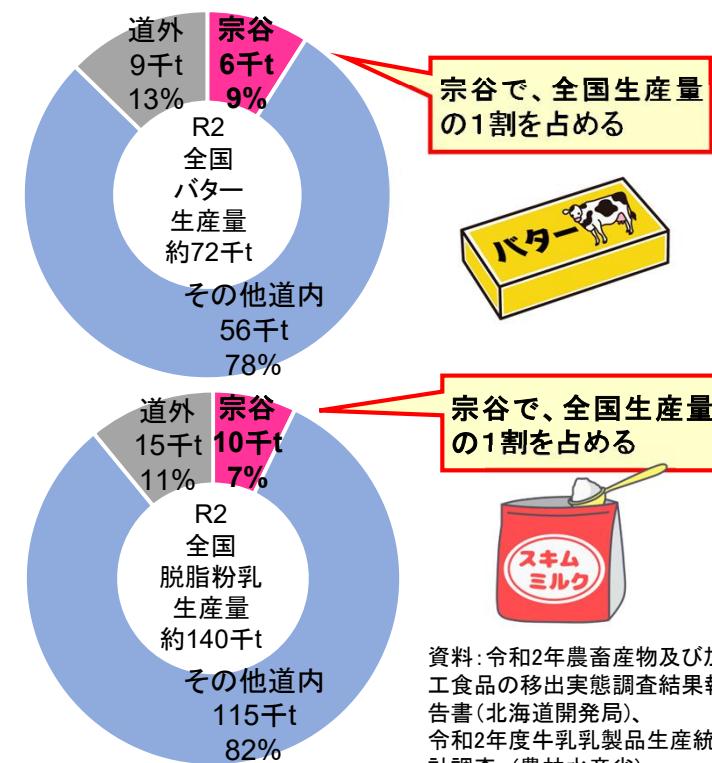
資料:令和2年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

▼飼料・乳製品の輸送ルート



資料:水産加工業者・物流業者ヒアリング

▼宗谷地域で製造される乳製品のシェア



■地域の声<農業協同組合>

- ・国道40号は、宗谷地域の生乳を原料として製造された、需要の高い高品質な乳製品が、安定的に出荷されるために、重要な道路である。

■地域の声<物流事業者>

- ・国道40号中川～天塩は、狭小トンネルや地吹雪により速度や安全性の低下が著しく、輸送経路上でも課題が大きい区間と認識。

3-3) 地域の状況と課題(医療①)

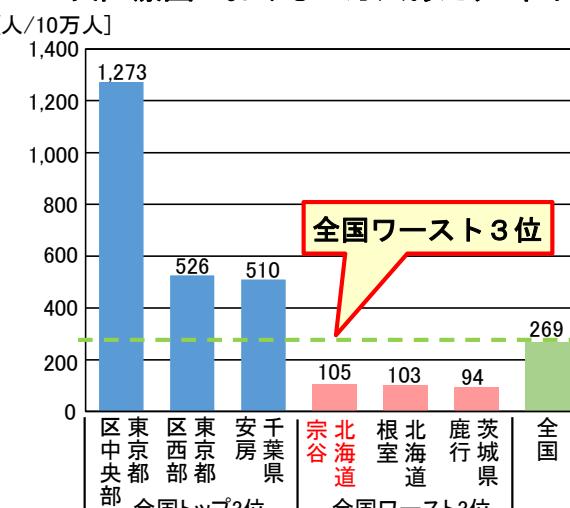
- 道北地域では、名寄市と稚内市に受診可能な診療科目が集中。また、宗谷地域は人口あたりの医師数が全国ワースト3位にあるなど、名寄市と稚内市が医療の中心。
- 道北地域では、中核となる三次救急医療機関は名寄市のみであり、名寄市への救急搬送件数は増加傾向。
- 稚内市から三次救急医療機関までの搬送時間は全道で最も長く、速達性の向上が課題。

▼道北地域の診療科目

診療科目	名寄市	稚内市	天塩町	音威子府村	士別市	和寒町	浜頓別町	枝幸町
胃腸科	0	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	3	3	1	1	2	0	1	1
循環器科	2	2	0	0	2	0	0	1
呼吸器科	1	0	0	0	1	0	0	0
呼吸器外科	1	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	4	3	0	1	1	0	0	0
心臓血管外科	1	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	3	1	0	0	0	0	0	1
産婦人科	1	1	0	0	0	0	1	0
麻酔科	1	1	0	0	2	1	0	0
3次救急医療機関	1	0	0	0	0	0	0	0

資料: 北海道医療機能情報システム(令和4年10月7日時点)

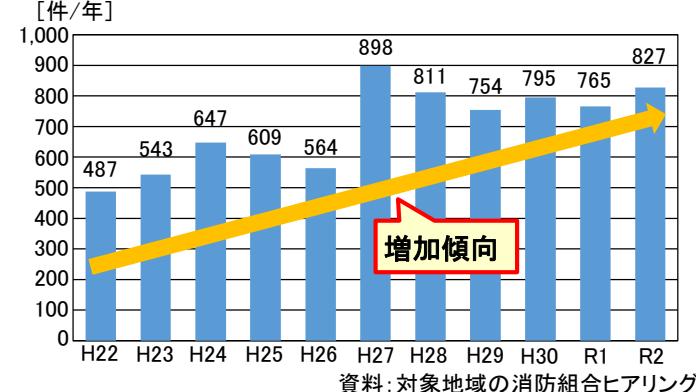
▼2次医療圏における10万人あたりの医師数



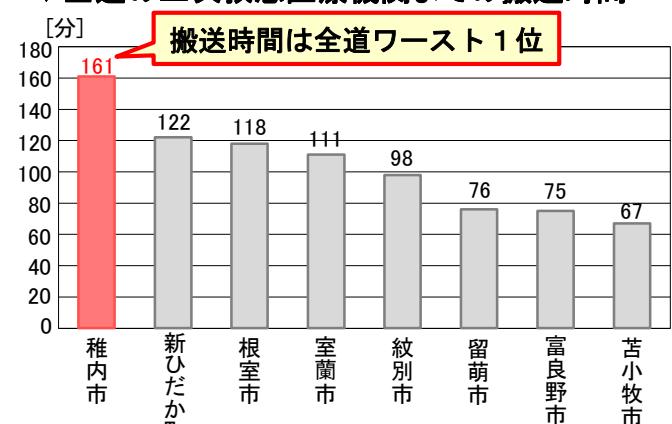
▼道北地域から名寄市への重症患者搬送件数



▼道北地域から名寄市への救急搬送件数の推移



▼全道の三次救急医療機関までの搬送時間



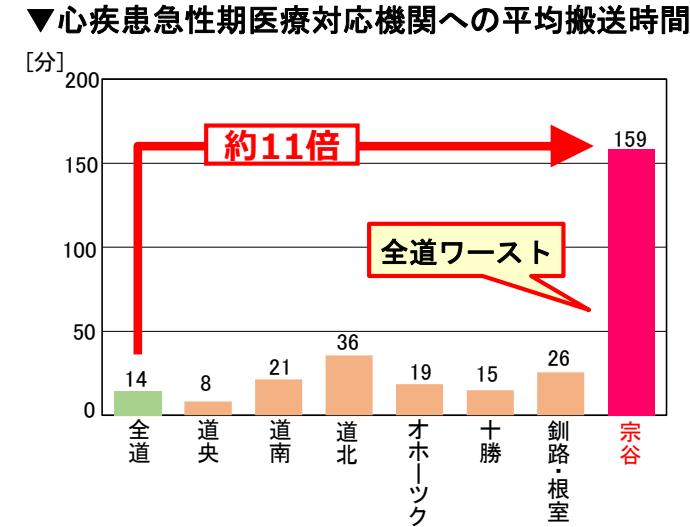
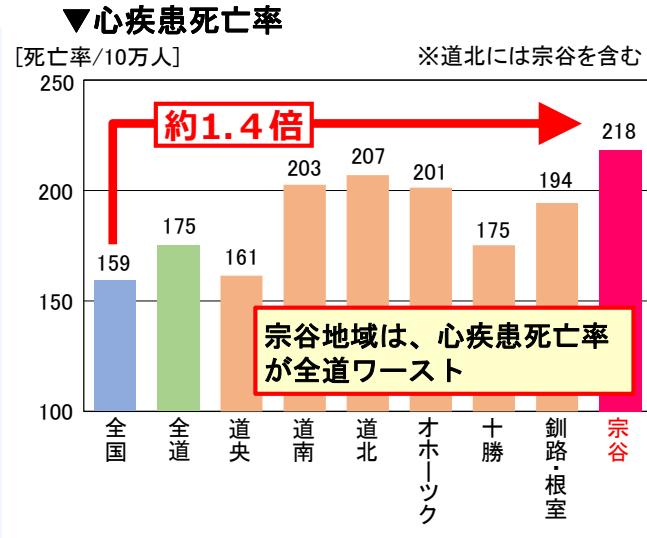
■地域の声<稚内地区消防組合>

- ・稚内市から名寄市立総合病院への救急搬送は全道の中で最も長く、1分1秒を争う重症患者の搬送においては、搬送中に患者が亡くなる可能性もあり、速達性の確保が重要。

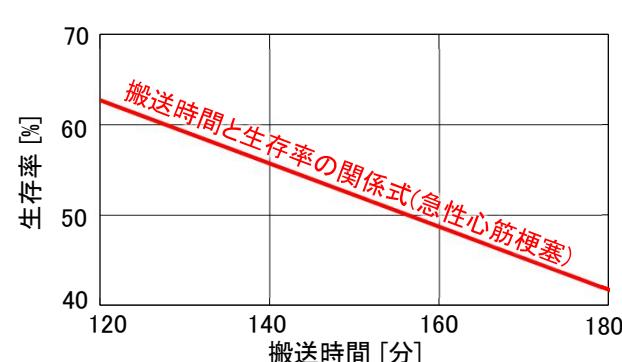
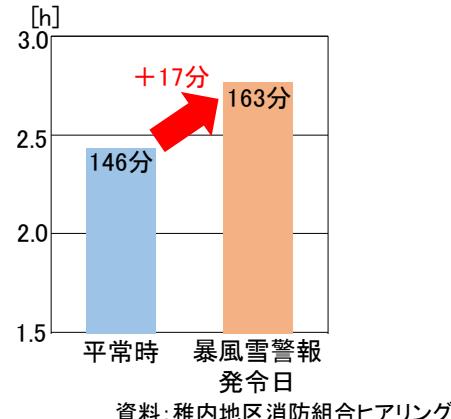
3-4) 地域の状況と課題(医療②)

- 宗谷地域の心疾患死亡率は全国・全道に比べ高水準であり、道北地域には心疾患を担う医療施設が名寄市のみであるため、長時間搬送による生存率の低下が課題。
- 冬期悪天候時には、さらに搬送時間が遅延するため、救急搬送の安定性の向上が課題。

▼道北地域の医療機関と心疾患急性期医療対応機関



▼冬期悪天候時の救急搬送時間(稚内市→名寄市)



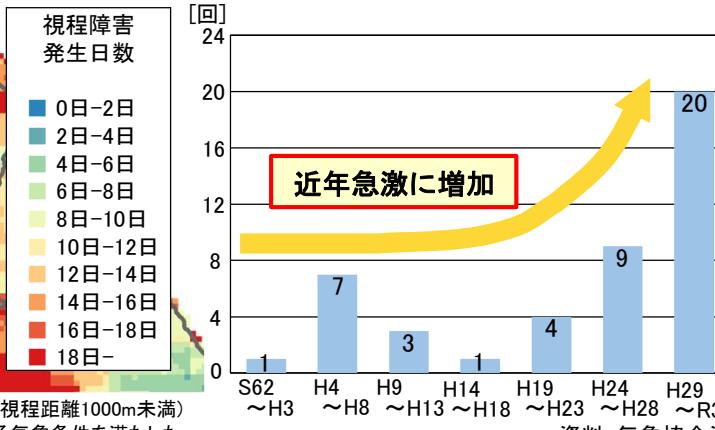
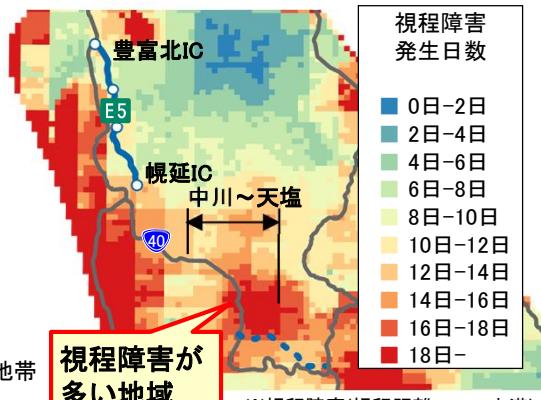
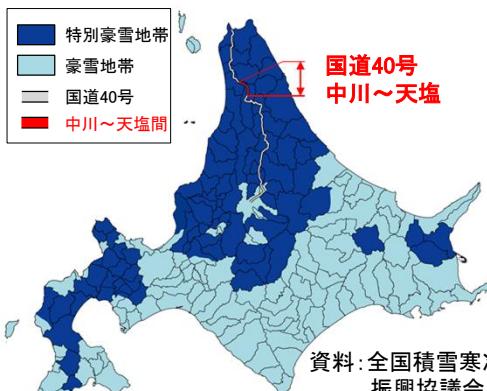
■地域の声<稚内地区消防組合>

- ・国道40号中川～天塩間は、地吹雪が発生しやすく、救急搬送の遅れが課題である。道路整備による救急車の搖れ・急ブレーキの減少や搬送時間の短縮は患者負担軽減に繋がる。

3-5) 地域の状況と課題(災害①)

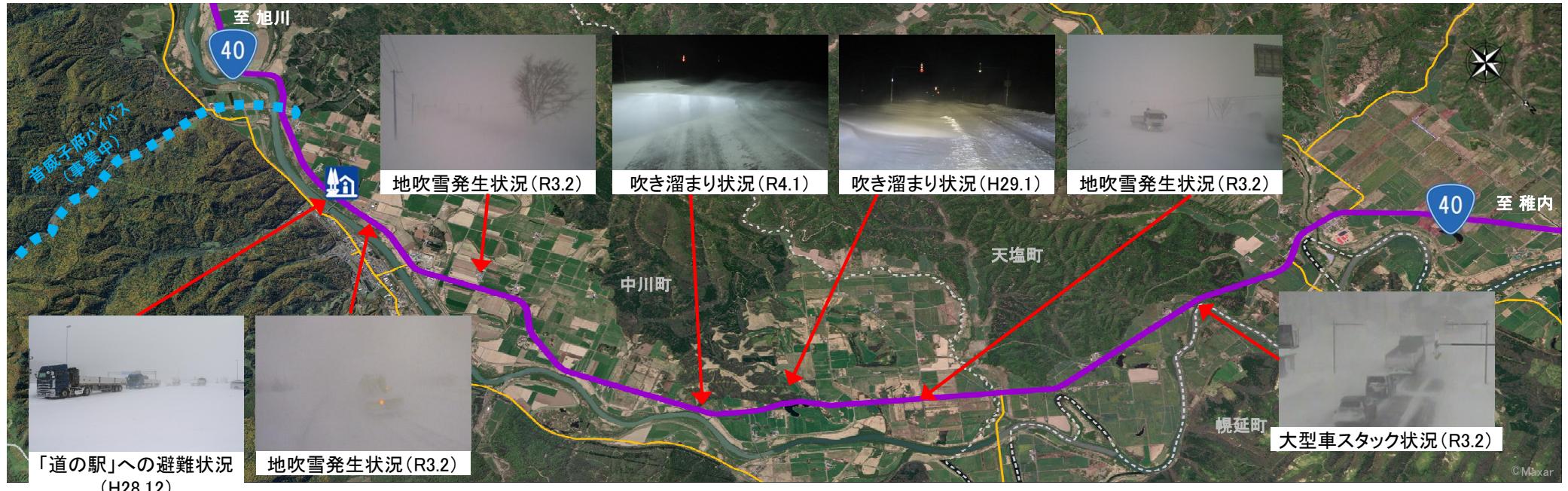
- 当該区間は、北海道内でも特に積雪の多い特別豪雪地帯に位置し、冬期の視程障害発生日数も多い地域。
- 近年、道北地域では暴風雪の発生要因である冬期の日本海低気圧の通過回数が増加傾向。
- 暴風雪の発生に伴い国道の通行止めが増加傾向にあり、冬期悪天候時の国道機能の確保が課題。

▼北海道の特別豪雪地帯と当該路線位置 ▼冬期の視程障害発生日数(R2) ▼冬期の日本海低気圧※通過回数の推移 ▼冬期悪天候による国道通行止め時間の推移



※豪雪地帯とは、冬に大量の雪が降り積もる地域であり、特別豪雪地帯とは、豪雪地帯のうち、積雪の度が特に高く、自動車の交通が長期間途絶することなどから、住民の生活に著しい支障が生じている地域。

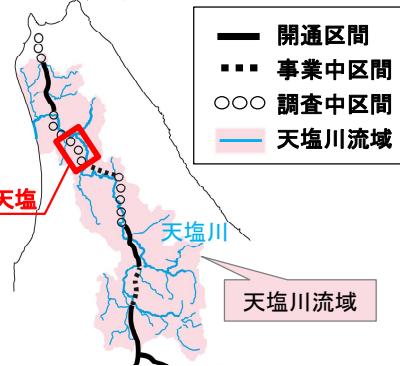
▼近年の暴風雪被害の状況



3-6) 地域の状況と課題(災害②)

- 当該区間は天塩川流域に位置しており、過去から洪水による被害が発生している地域。近年は激しい雨(30m/h以上)の発生回数が増加傾向で、天塩川氾濫時には国道区間の約4割で浸水が想定。
- 天塩川の氾濫により、国道40号が寸断した場合、救急医療や物流、災害時の救援・復旧活動に大きく影響するため、洪水に対する道路機能確保が課題。

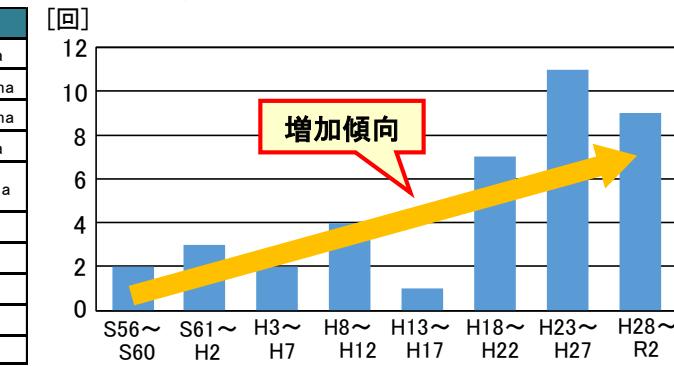
▼天塩川流域図



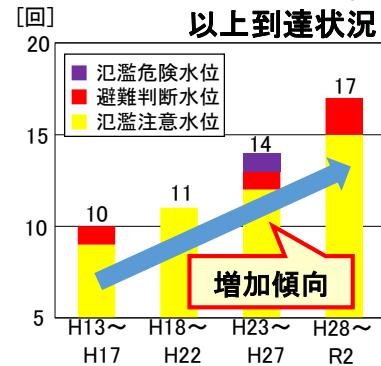
▼天塩川流域での過去の災害

発生年月	発生原因	被害状況
1970 (S45)、10	低気圧	家屋被害193戸、浸水面積2,511ha
1973 (S48)、8	台風、前線	家屋被害1,255戸、浸水面積12,775ha
1975 (S50)、8	台風、前線	家屋被害2,642戸、浸水面積11,640ha
1975 (S50)、9	低気圧	家屋被害117戸、浸水面積4,253ha
1981 (S56)、8	低気圧、台風、前線	家屋被害 546戸、浸水面積15,625ha
1992 (H4)、7	低気圧	家屋被害9戸、浸水面積288ha
1994 (H6)、8	低気圧	家屋被害138戸、浸水面積854ha
2001 (H13)、9	前線、台風	家屋被害2戸、浸水面積315ha
2010 (H22)、7	低気圧	家屋被害60戸、浸水面積279ha
2016 (H28)、8	台風	家屋浸水36戸

▼中川町以南※の激しい雨(30mm/h以上)の発生回数



▼天塩川の氾濫注意水位以上到達状況



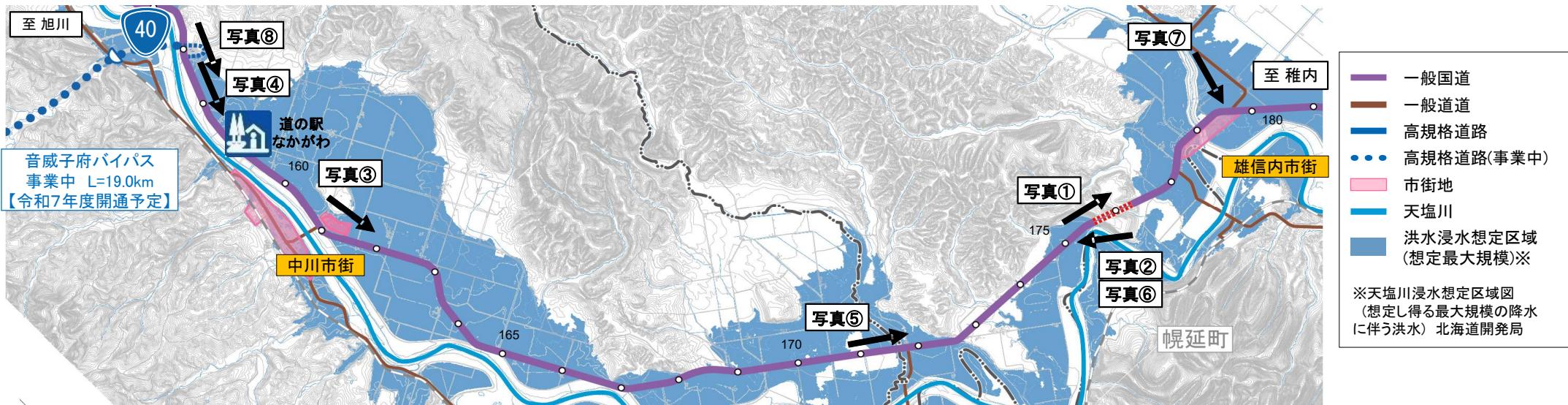
▼近年の洪水による被災箇所と洪水浸水想定区域



4. 道路の状況と課題

4-1) 国道40号中川～天塩間の道路課題

- 走行環境:トンネル・橋梁等の狭小幅員区間の連続や、冬期悪天候に伴う地吹雪等により走行性が低下。
- 安全:狭小幅員区間の連続に伴う路外逸脱・工作物衝突の事故割合が高く、特に雄信内トンネルは事故危険区間となり、事故が多発している状況。また、冬期は地吹雪に伴う視程障害等の影響により事故が多発。
- 災害:冬期は地吹雪や吹き溜まりによる通行止めが発生するほか、天塩川の洪水浸水想定区域が存在。



走行環境



狭小トンネルの走行状況(H26.1)



幅員不足でセンターラインを超過する大型車(H25.10)

事故



冬期交通事故発生状況(H23.12)



狭小幅員箇所での路外逸脱事故(H27.3)

災害(冬期)



吹きだまり発生状況(H26.12)



大型車スタック状況(R3.2)

災害(水害)



洪水による家屋浸水(H22.7)



国道の冠水状況(H22.8)

・トンネル等の狭小幅員区間が連続
・冬期悪天候時に走行速度が低下

・地吹雪等により交通事故が多発
・狭小幅員区間での路外逸脱事故が多発

・地吹雪による吹き溜まりが発生し、通行止め
が多発

・洪水浸水想定区域が存在
・大雨時に国道で冠水が発生

4-2) 道路の状況と課題(走行環境)

- 当該区間は橋梁等の狭小幅員区間が連続しており、速度低下や急ブレーキが発生。
- 特に狭小幅員である雄信内トンネルは、農水産品の物流輸送ルートに伴う大型車のすれ違いが困難な状況。
- 地吹雪発生箇所が多く、冬期悪天候時の旅行速度は低下するため、物流輸送や救急搬送時に大きな負担。

▼当該区間の走行環境

写真④



冬期の走行環境 (R2.2)

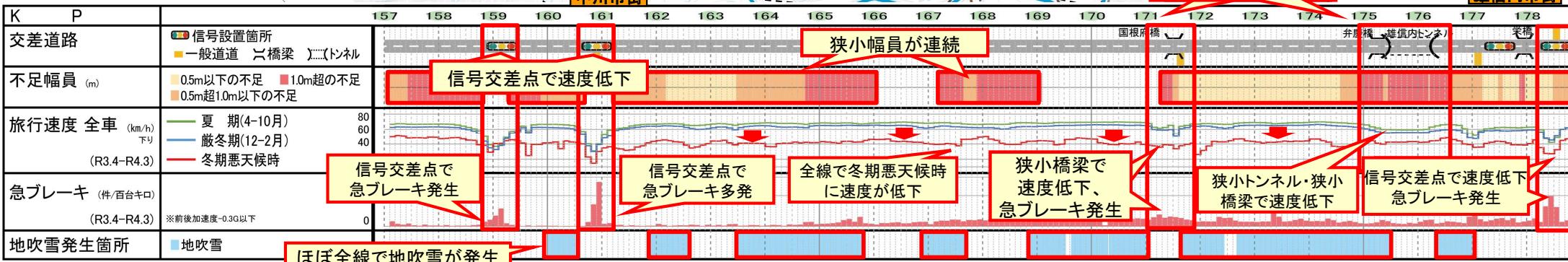
- 一般国道
- 一般道道
- 高規格道路
- 高規格道路(事業中)
- 市街地
- 天塩川



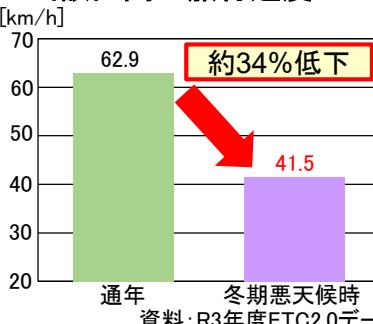
▼狭小トンネルの断面図



特に、トンネル・橋梁部の幅員が不足



▼当該区間の旅行速度



狭小トンネルでの大型車のすれ違い状況 (H26.1)



狭小幅員でセンターラインを超える大型車 (H25.10)



視程障害発生状況 (R3.2)

■地域の声<物流事業者>

- ・国道40号中川～天塩間にある雄信内トンネルは幅が狭いため、特に注意して走行している。

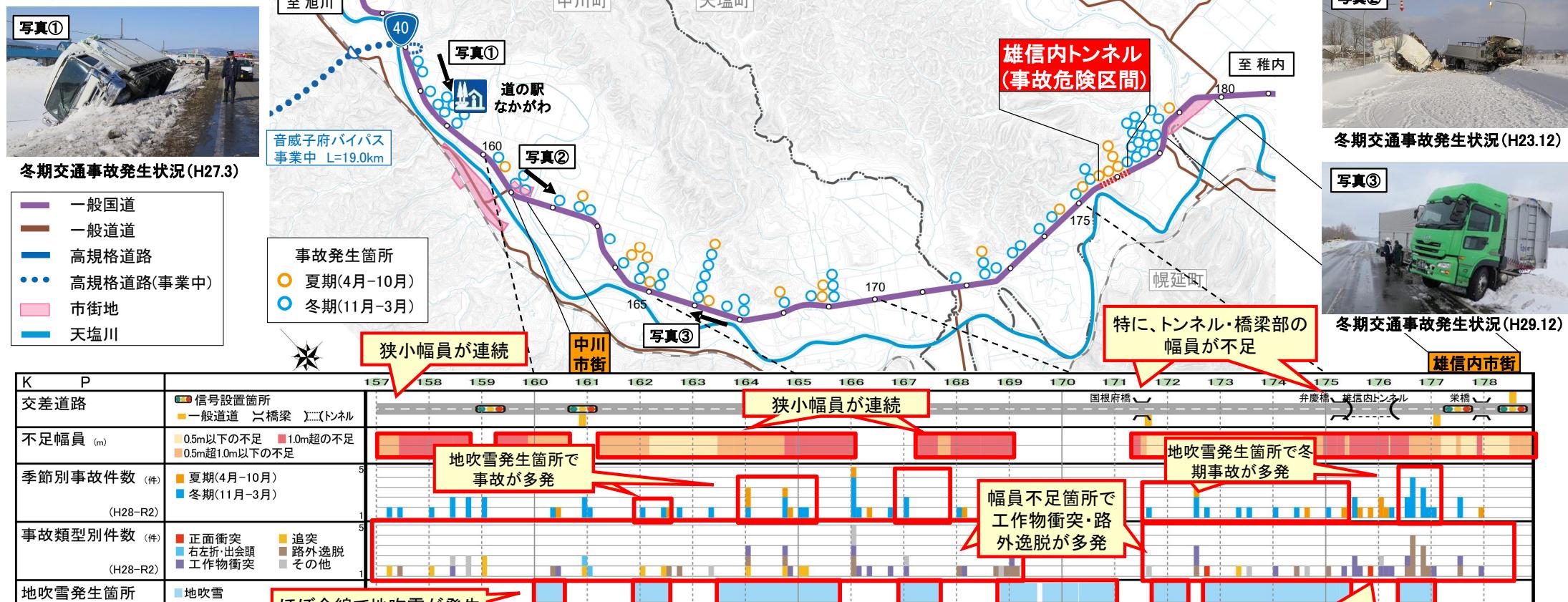
■地域の声<稚内地区消防組合>

- ・稚内から名寄への冬期の救急搬送は吹雪による視界不良により搬送に時間を要する。

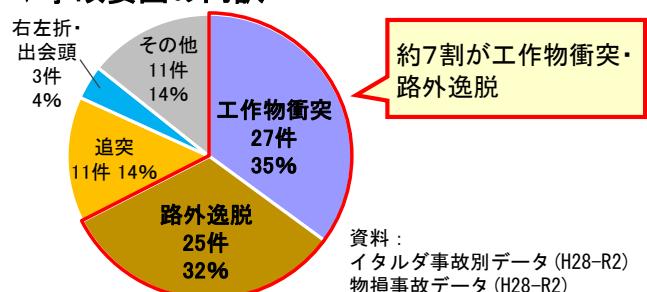
4-3) 道路の状況と課題(事故)

- 農水産品の物流輸送ルートである当該区間は、狭小幅員区間が連続しており、大型車の路外逸脱等の事故が発生。特に狭小幅員である雄信内トンネルは、事故危険区間であり工作物衝突等の事故が多発。
- 地吹雪発生箇所が連続しており、視程障害等が発生する冬期の事故が多発し、救急搬送等の安全性が課題。

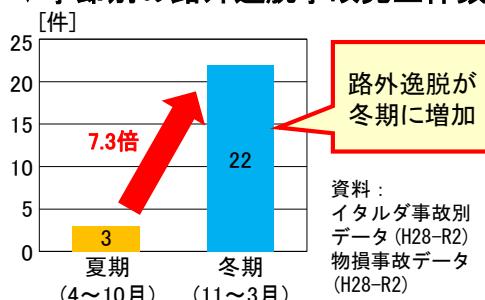
▼当該区間の事故発生状況



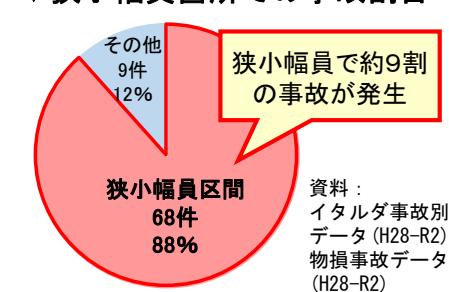
▼事故要因の内訳



▼季節別の路外逸脱事故発生件数



▼狭小幅員箇所での事故割合



雄信内トンネル周辺で事故が多発

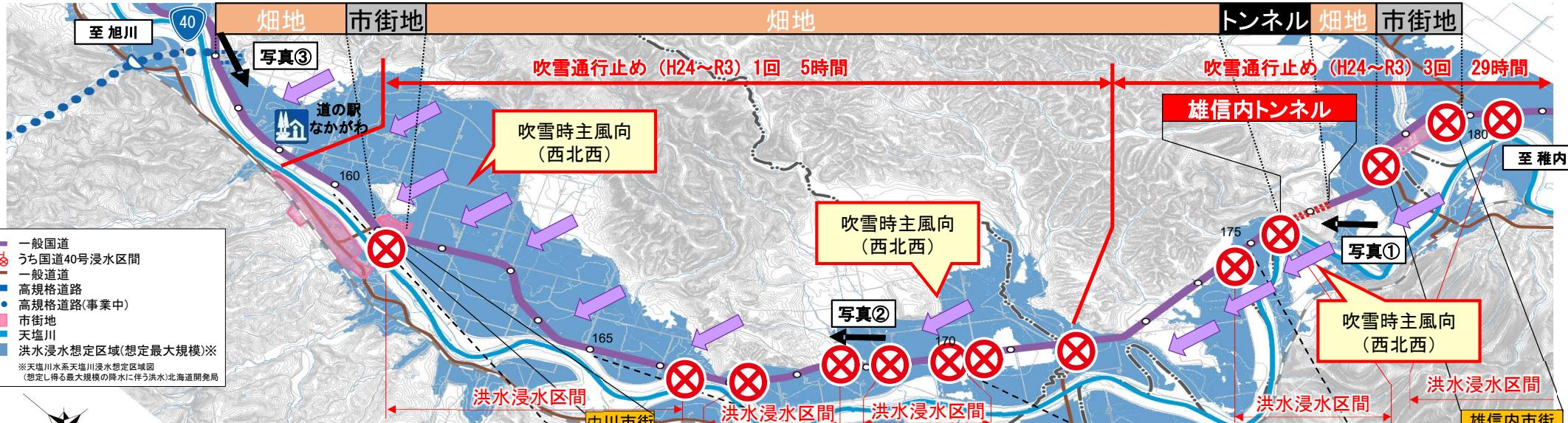
■地域の声<物流事業者>

・雄信内トンネルはトンネル内幅員が狭く、トラックなどの大型車両のすれ違いの際には、トンネル内事故が発生することも懸念される。

4-4) 道路の状況と課題(災害)

- 当該区間は沿道に畠地が広がり風を遮るものが無いため、冬期悪天候時には地吹雪や吹き溜まりが発生。地吹雪の発生に伴う通行止めのほか、大型車のスタックが発生するなど、冬期における走行時の確実性に課題。
- 当該区間は天塩川の洪水浸水想定区域に位置しており、洪水災害発生時は国道が通行できなくなることが想定され、災害時における国道機能の確保が課題。

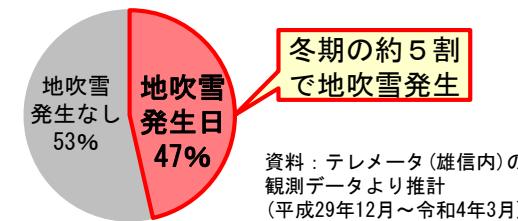
▼当該区間の冬期課題箇所と洪水浸水想定区間



K	P	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178
交差道路	信号設置箇所 一般道道 (トンネル)																						
地吹雪発生箇所	地吹雪																						
吹き溜まり発生箇所	吹きだまり発生区間																						
通行止め実績 (H24~R3)	吹雪	4																					
洪水浸水想定箇所	浸水想定区間 想定最大規模																						

ほぼ全線で吹き溜まりが発生
ほぼ全線で地吹雪が発生
吹きだまり発生区間
吹雪通行止め発生
洪水浸水想定区間
が存在

▼地吹雪発生日の割合(12~3月)



■地域の声<天塩町>

- ・天塩川に隣接する国道40号が寸断されると、雄信内地区が陸の孤島となることが懸念される。

5. 課題の整理

5-1) 地域の課題と道路の課題(案)

地域の課題(案)	道路の課題(案)	テーマ
<ul style="list-style-type: none"> ○宗谷地域は、ほたてなどの水産品の漁獲量や生乳・乳製品の生産量が全国トップクラスであり、日本の食を支える生産空間。 ○宗谷地域の水産品は、道内の加工場のほか、新千歳空港や苫小牧港へ陸送後、全国・海外へ出荷されるが、国道40号中川～天塩の狭小幅員区間の連続に伴う輸送時の速達性や安定性・安全性が課題。 ○乳製品は、毎日、物流拠点となる札幌市、旭川市や苫小牧港から全国へ輸送され、乳用牛の餌となる穀物飼料は幌延町の倉庫から各農家に配送されているが、吹雪や吹き溜まりによる速達性・安全性の低下が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○宗谷地域から物流拠点までの輸送ルート上に、狭小幅員区間が連続しており、速度低下や急ブレーキが発生。 ○特に狭小幅員である雄信内トンネルは、農水産品の物流輸送ルートに伴う大型車のすれ違いが困難な状況。 ○地吹雪発生箇所が多く、冬期悪天候時の旅行速度は低下するため、物流輸送に大きな負担となるため、速達性や安全性の高い道路が必要。 	農水産業支援 (物流)
<ul style="list-style-type: none"> ○道北地域では、名寄市と稚内市に受診可能な診療科目が集中しており、人口あたりの医師数は全国ワースト3位にあるなど、名寄市と稚内市が医療の中心。 ○三次救急医療機関や心疾患を担う医療施設は名寄市のみであり、名寄市への救急搬送件数は増加傾向。 ○稚内市から三次救急医療機関までの搬送時間は全道で最も長く、速達性の向上が課題。冬期悪天候時には、さらに搬送時間が遅延するため、救急搬送の安定性の向上が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○稚内市から名寄市への救急搬送ルート上に、地吹雪発生箇所が多く、冬期悪天候時の旅行速度は低下しており、救急搬送時に大きな負担となるため、速達性や安定性の高い道路が必要。 	暮らし (医療)
<ul style="list-style-type: none"> ○当該区間は、北海道内でも特に積雪の多い特別豪雪地帯に位置し、冬期の視程障害発生日数が多い地域。近年、道北地域では暴風雪の発生要因である冬期の日本海低気圧の通過回数、暴風雪の発生による国道の通行止めが増加傾向。 ○当該区間は天塩川流域に位置しており、過去から洪水による被害が発生している地域。近年は激しい雨(30mm/h以上)の発生回数が増加傾向。 ○冬期悪天候時や洪水に対する国道機能確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当該区間においては、地吹雪の発生に伴う通行止めのほか、大型車のスタックが発生するなど、冬期における走行時の確実性に課題。 ○当該区間は天塩川の洪水浸水想定区域に位置しており、洪水災害発生時は国道が通行できなくなることが想定され、災害時における国道機能の確保が課題。 	災害 (防災・減災)

5-2 地域の課題と道路の課題(案)

農水産業支援
(物流)

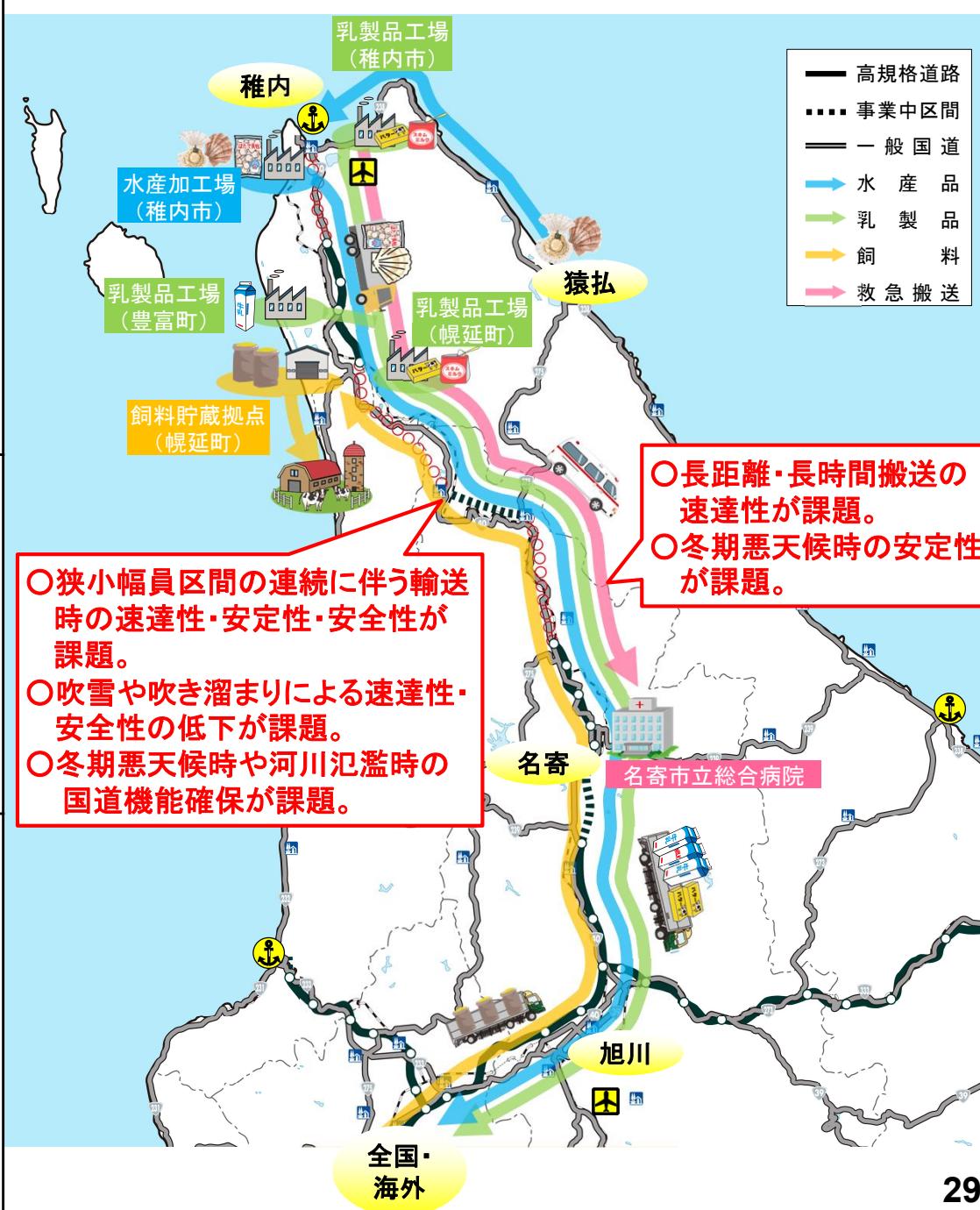
- 宗谷地域は、ほたてなどの水産品の漁獲量や生乳・乳製品の生産量が全国トップクラスであり、日本の食を支える生産空間。
- 宗谷地域の水産品は、道内の加工場のほか、新千歳空港や苫小牧港へ陸送後、全国・海外へ出荷されるが、**国道40号中川～天塩の狭小幅員区間の連続に伴う輸送時の速達性や安定性・安全性が課題。**
- 乳製品は、毎日、物流拠点となる札幌市、旭川市や苫小牧港から全国へ輸送され、乳用牛の餌となる穀物飼料は苫小牧港から幌延町の倉庫へ輸送され各農家に配送されているが、**吹雪や吹き溜まりによる速達性・安全性の低下が課題。**

暮らし
(医療)

- 道北地域では、名寄市と稚内市に受診可能な診療科目が集中しており、人口あたりの医師数は全国ワースト3位にあるなど、名寄市と稚内市が医療の中心。
- 三次救急医療機関や心疾患を担う医療施設は名寄市のみであり、**名寄市への救急搬送件数は増加傾向。**
- 稚内市から**三次救急医療機関までの搬送時間は全道で最も長く、速達性の向上が課題。**冬期悪天候時には、さらに搬送時間が遅延するため、**救急搬送の安定性の向上が課題。**

災害
(防災・減災)

- 当該区間は、北海道内でも特に積雪の多い特別豪雪地帯に位置し、冬期の視程障害発生日数が多い地域。近年、道北地域では暴風雪の発生要因である冬期の**日本海低気圧の通過回数、暴風雪の発生による国道の通行止めが増加傾向。**
- 当該区間は天塩川流域に位置しており、過去から洪水による被害が発生している地域。**近年は激しい雨(30mm/h以上)の発生回数が増加傾向。**
- 冬期悪天候時や洪水に対する国道機能確保が課題。



5-3) 地域の将来像

地域の将来像

産業・経済

- 農林水産業における生産基盤の強化と安定供給

- 物流ネットワークの充実・強化

〔道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」〕

- 農水産品の地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の推進

〔道北連携地域政策展開方針〕

- 「道の駅なかがわ」の観光関連施設としての機能強化

〔第7次中川町総合計画（2019～2023）〕

- 畜産振興に係る支援

〔第7期天塩町総合振興計画（2019～2028）〕

医療

- 地域医療と保健・福祉の充実、少子化対策に向けた取組の推進

〔道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」〕

- 医療連携や救急医療体制の充実

- 自治体病院等の広域化と連携

- 高規格道路の整備

〔道北連携地域政策展開方針〕

- 地域医療の充実

- 広域医療機関との連携強化による救急医療体制の充実

〔第7次中川町総合計画（2019～2023）〕

- 安定的な医療体制の確保

- 近隣医療機関との連携推進

〔第7期天塩町総合振興計画（2019～2028）〕

安全・防災

- 災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化

- 天塩川の洪水に対する安全性向上

- 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上

〔道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」〕

- 地域住民が安心して暮らせる防災体制の強化

〔道北連携地域政策展開方針〕

- 地域防災体制の強化

- 交通安全環境の整備

〔第7次中川町総合計画（2019～2023）〕

- 地域防災力の向上

- 孤立地区対策の推進

- 緊急輸送体制の整備及び交通対策

〔第7期天塩町総合振興計画（2019～2028）〕

5-4) 地域の将来像(新たな北海道総合開発計画の構成)

第1章 計画策定の意義

第1節 北海道開発の経緯

- 国全体の安定と発展に寄与するため、特別な開発政策の下、北海道開発を推進。
- 食料品等の輸出倍増、外国人観光客数100万人突破等の成長産業の萌芽。他方、経済・人口は縮小傾向。ネットワーク未整備区間、地域コミュニティ維持に係る懸念の存在。

第2節 我が国を取り巻く時代の潮流

(1) 本格的な人口減少時代の到来

(2) グローバル化の更なる進展と国際環境の変化

(3) 大規模災害等の切迫

第3節 新たな北海道総合開発計画の意義

- 北海道開発の基本的意義：北海道の資源・特性を活かして、国の課題の解決に貢献。
- 人口減少・高齢化の急速な進展等により、食や自然環境など北海道の強みを提供し、我が国全体に貢献している「生産空間」の維持が困難となるおそれ。
- 来たるべき10年間は、
 - 「生産空間のサバイバル」「地域としての生き残り」を賭けた重要な期間。
 - また、北海道新幹線開業、高速道路網の道東延伸、2020年オリパラ等を地域の飛躍の契機となし得る期間。
- これらの機会の活用によって、本格的な人口減少時代にあっても活力を失うことなく人々が豊かな暮らしを送ることのできる地域社会の先駆的形成を図る。

第2章 計画の目標

キャッチフレーズ：「世界の北海道」

ビジョン：2050年を見据え、「世界水準の価値創造空間」の形成

第3章 計画推進の基本方針

第1節 計画の期間

2016(平成28)～2025(平成37) 年度の10年間

第2節 施策の基本的な考え方

(1) 北海道型地域構造の保持・形成

- 「生産空間」「市街地」「中心都市」の3層構造で人々の日常生活が営まれる「基礎圈域」を形成。
- 札幌都市圏：集積を活かして北海道全体を牽引。

(2) 北海道の価値創造力の強化

- 人口減少時代にあっては、「人」こそが資源。
- 人材育成・活用の重点的実施とともに、多様な人々を引きつけ、地域の価値創造力を向上。

第3節 計画の推進方策

(1) 産学官民金連携による重層的なプラットフォームの形成

- 人材育成、地域づくり等のテーマに応じて、産学官民金が連携するプラットフォームを各地域又は北海道全体で展開し、取組を持続的にマネジメント。

(2) イノベーションの先導的・積極的導入～「北海道イニシアティブ」の推進

- 技術の力で人口減をカバーし、地域の課題を旧弊にとらわれずイノベイティブに解決。

(3) 戦略的な社会資本整備

- 社会資本のストック効果を最大限に発揮。
- 戦略的なインフラメンテナンスの徹底、技術開発も活用した「賢く使う」取組の充実強化。

(4) 計画のマネジメント

- 「企画立案→実施→評価→改善」のマネジメントサイクル。おおむね5年後に総合的な点検。

『3つの目標』

(1) 人が輝く地域社会

(2) 世界に目を向けた産業

(3) 強靭で持続可能な国土

第4章 計画の主要施策

第1節 人が輝く地域社会の形成

- 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進
- 北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進

第2節 世界に目を向けた産業の振興

(1) 農林水産業・食関連産業の振興

(2) 世界水準の観光地の形成

(3) 地域の強みを活かした産業の育成

- 高規格幹線道路を始めとする基幹的なネットワークについて、農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンク解消等を推進する。

第3節 強靭で持続可能な国土の形成

(1) 恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成

- 環境と経済・社会の持続可能性の確保
- 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現

(2) 強靭な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成

- 激甚化・多様化する災害への対応
- 我が国全体の国土強靭化への貢献
- 安全・安心な社会基盤の利活用

5-5) 地域の将来像(道北地域づくり推進ビジョン)

- 平成20年6月以降、多様な主体と地域づくりの方向を検討・共有し、地域における総合的な意見交換の場の確立を図るために、「地域づくり連携会議」が、平成13年12月以降全道に設置した「地域連携会議」を発展して改組された。
- 「道北地域づくり推進ビジョン」は、新たな北海道総合計画および第8期北海道総合開発計画を踏まえ、平成29年7月に取りまとめられ、令和3年度の北海道総合開発計画の中間点検結果、北海道総合計画の改訂を踏まえ、見直された。
- 道北地域づくり連携強化計画では、地域重点プロジェクトのうち、農水産業や観光、防災・減災、ネットワーク強化に関するプロジェクトの一環として、交通ネットワークの充実・強化や交通の安全性向上が示されている。

▼道北地域づくり推進ビジョンにおける地域の目指す姿

広大な土地や特色のある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる地域

- 地域特性を生かした産業振興
- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 離島地域の振興
- 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり
- 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

資料:R4.1 道北地域づくり推進ビジョン

▼道北地域づくり推進ビジョンにおける地域重点プロジェクト

項目	食	観光	環境・地域づくり・暮らし	離島	社会基盤
地域のめざす姿	地域特性を活かした産業振興	多様な魅力あふれる観光の振興	豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり	離島地域の振興	生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成
地域重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○上川の農産物供給力向上プロジェクト ○留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト ○上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト ○上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト ○活動ある宗谷の1次産業推進プロジェクト ○ロシア極東との交流推進プロジェクト ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○道北広域観光活性化プロジェクト ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲) ○ロシア極東との交流推進プロジェクト(再掲) ○天塩川ブランド力向上プロジェクト ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト(再掲) ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲) ○人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境保全プロジェクト ○安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト ○安全・安心な地域づくりプロジェクト ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト ○天塩川ブランド力向上プロジェクト(再掲) ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト(再掲) ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲) ○人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○道北広域観光活性化プロジェクト(再掲) ○留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト(再掲) ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト(再掲) ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲) ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト(再掲) ○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト(再掲) ○安全・安心な地域づくりプロジェクト(再掲) ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト(再掲) ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域交通ネットワーク形成プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲) ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト(再掲)

上川の農作物供給力向上プロジェクト

- 農産物の生産性向上
- 農産物・食品輸送の効率化推進

留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト

- 農産物の安定供給の推進
- 水産物の品質向上
- 物流ネットワークの充実

広域交通ネットワーク形成プロジェクト

- 交通ネットワークの強化
- 物流ネットワークの強化
- 広域分散型社会に対応した地域交通の形成

道北広域観光活性化プロジェクト

- 広域周遊型観光の促進
- 観光資源の保護、育成
- 観光振興に配慮した基盤整備
- 住民と連携した観光振興

豊かな自然環境保全プロジェクト

- 河川周辺の環境の保全
- 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
- 環境に配慮した整備の促進
- 農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備
- 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現

安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト

- 石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上
- 地震、津波等に対する安全性向上
- 土砂災害に対する安全性向上
- 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上
- 地域防災力向上の取組推進
- 災害時の支援体制の充実

資料:R4.1 道北地域づくり推進ビジョン

5-6) 地域の将来像(北海道および道北連携地域)

- 北海道は、今後10年間(平成28年度～令和7年度)の基本的な方向を総合的に示す計画として策定していた、「北海道総合計画－輝きつづける北海道－」を令和3年12月に改訂。
- 北海道総合計画の改訂等を踏まえ、北海道地域振興条例に基づく地域計画として、令和3年12月、新たな道北連携地域政策展開方針を策定。
- 道北連携地域政策展開方針では、主な施策の展開方向として、農林水産業や食関連産業の振興、特色ある豊かな資源を活かした観光の展開、安心して暮らせる地域社会の形成のほか、それら暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成が謳われている。

▼北海道総合計画が示す将来像(H28～R7)



▼道北連携地域政策展開方針における地域の目指す姿と主な施策の方向性について(R3～R7)



■地域の目指す姿

広大な土地や特色ある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる「道北連携地域」

○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト

- ・特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信
- ・空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの強化充実

○天塩川ブランド力向上プロジェクト

- ・地域連携による絆の強化
- ・魅力創造・情報発信によるブランド力の強化

○安全・安心な地域づくりプロジェクト

- ・全ての世代が安心して暮らせる環境づくり
- ・災害(地震、津波、大雨、火山等)に対する防災体制の強化等

○上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト

- ・農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進
- ・地域連携による人材育成確保等の取組の推進
- ・担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口の創出・拡大

○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

- ・地域が連携した新エネルギー導入促進の取組
- ・木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進

○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト

- ・持続可能な農業の推進
- ・日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興
- ・地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進
- ・森林資源の循環利用・木育の推進

○ロシア極東との交流推進プロジェクト

- ・サハリン州等との友好交流の推進
- ・ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進

○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト

- ・多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進

5-7) 地域の将来像(中川町、天塩町のまちづくり)

- 中川町では、交通網の充実や農業の振興、医療の充実、地域防災の強化等の方針が示されており、天塩町では、道路網の整備や農業の振興、医療体制の確保、防災対策の推進等の方針が示されている。
- また、両町とも道路ネットワークの整備促進に取組む方針が示されている。

中川町のまちづくり基本目標

- (1) 健やかで安心な暮らしを実感できるまち
- (2) 活力ある経済と賑わいを実感できるまち
- (3) 自然と調和した安全な環境を実感できるまち
- (4) 豊かな文化と人の育みを実感できるまち
- (5) 協働と信頼を実感できるまち

天塩町のまちづくり基本目標

- (1) 安心・安全で住みよいまちづくり
- (2) 活気あふれるまちづくり
- (3) いきいきと暮らせるまちづくり
- (4) 先人の偉業に学び、未来を切り開くまちづくり
- (5) 郷土を愛し、地域が輝くまちづくり

施策の概要

▼保健・医療の充実

- ・広域医療機関との連携強化
- ・救急医療体制の充実

▼地域防災の強化

- ・地域防災体制の強化
- ・防災対策の強化

▼交通安全・防犯対策等の充実

- ・冬季間の歩行者
- ・車両通行の安全確保

▼道路交通網の整備

- ・高規格道路、国道整備

▼交通機関の利便性の向上

- ・道の駅に連結する「長距離定期バス」運行の要請
- ・町内交通機関の確保

▼農業の振興

- ・農業生産基盤の整備
- ・新たな農業展開の強化

▼観光の振興

- ・観光関連施設の整備
- ・観光誘客の強化

施策の概要

▼道路網の整備

- ・国道や道道などの広域的な幹線道路の整備促進
- ・冬期間の交通機能の確保

▼交通手段の充実

- ・望ましい公共交通施策の検討

▼防災対策の推進

- ・災害に強い地域づくりの推進
- ・孤立地区対策の推進

・避難対策及び救急医療対策の充実

- ・緊急輸送、物資供給体制の整備及び交通対策

▼農業の振興

- ・畜産振興に係る支援
- ・農業基盤の整備

▼観光の振興

- ・道北管内全体の周遊ルート確立

▼安定的な医療体制の確保

- ・適正な医療体制の確保
- ・近隣医療機関との連携推進

6. 意見聽取方法

6-1) 意見聴取方法

■意見聴取の基本方針

- 「地域の改善すべき課題」、「北海道縦貫自動車道の調査中区間及び並行する国道40号の課題」に対し意見を伺う。

■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法

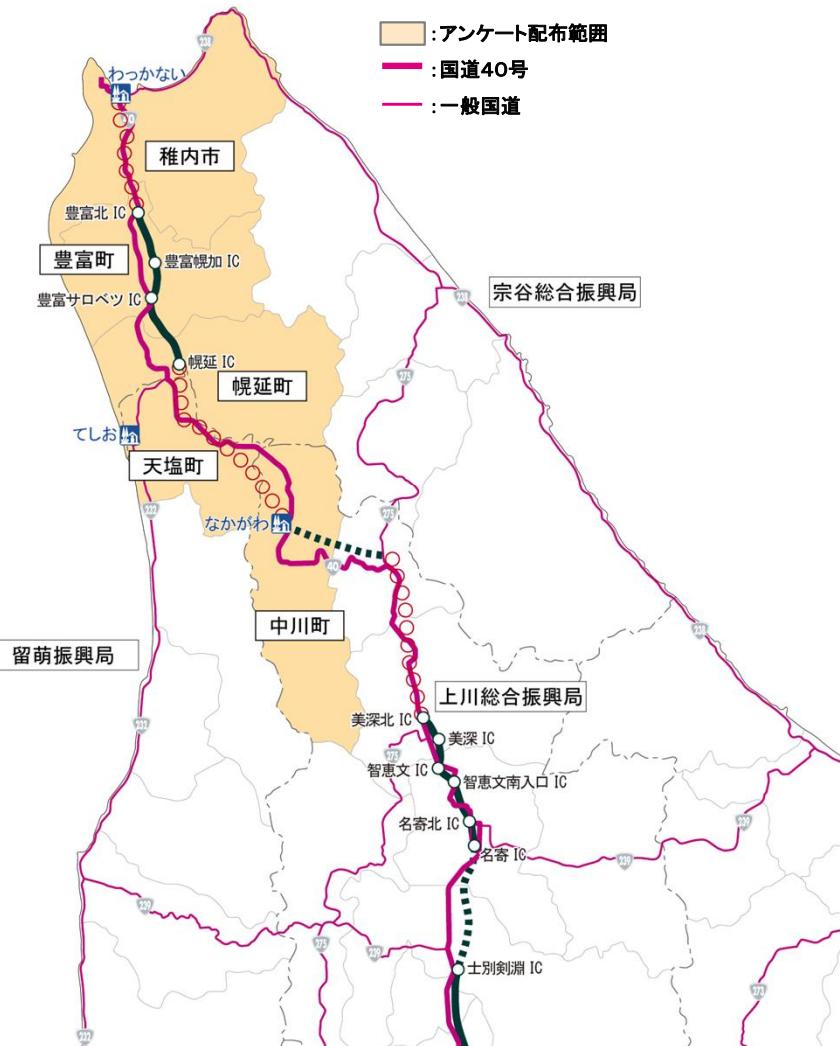
【自治体及び団体代表者】

沿線自治体等	上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局、中川町、天塩町、稚内市、豊富町、幌延町	インタビュー形式でのヒアリング
各団体	商工会議所(1箇所)、商工会(4箇所) 農業協同組合(5箇所)、漁業協同組合(5箇所) 乳製品工場(3箇所) 北海道トラック協会、旭川地区トラック協会、北海道バス協会、バス事業者(2社)、レンタカービジネス(9社)、 北海道観光振興機構、観光連盟(3箇所)、 観光協会(4箇所)、空港(1箇所) 消防(5箇所)、病院(5箇所)	

【地域住民及び道路利用者】

地域住民	中川町(全戸:822戸)、天塩町(全戸:1,425戸)、稚内市(全戸:16,060戸)、豊富町(全戸:1,951戸)、幌延町(全戸:1,225戸)	郵送配布調査(約21,483戸)
道路利用者	5自治体の役場、道の駅3箇所(なかがわ、てしお、わっかない)	常設の留置きアンケート調査
広域的な利用者		Webアンケート調査
観光客	観光施設等(空港、観光施設、道の駅等)	インタビュー形式でのアンケート調査

■アンケート配布範囲



6-2) 意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や各団体、観光客への意見聴取	<ul style="list-style-type: none">・地域や道路の課題に関し、自治体や各団体、観光客への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。・自治体や各団体、観光客との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題(必要な機能)	高規格道路の調査中区間(中川～天塩)及び並行する国道40号の現状について、回答者の考える課題(必要な機能)を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯(複数案)に対する意見	ルート帯、インターチェンジ選定に当り、回答者が重視する視点、配慮すべき事項を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間にに関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

6-3) 第1回アンケート調査(案)

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

➡ ○本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

北海道縦貫自動車道(中川～天塩間)における 道路計画に関する第1回アンケート調査

北海道縦貫自動車道は、函館市を起点として室蘭市、札幌市、岩見沢市、旭川市を経由し、稚内市へ至る道路です。道北圏と道央圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流の効率化等の支援を主な目的として整備を進めています。

本アンケートは、このうちの中川～天塩間の道路計画にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様への情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

アンケートにご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

■このアンケートでは、中川～天塩のことについてお伺いします。



1

②道北地域の概況

➡ ○地域の概況と課題について説明

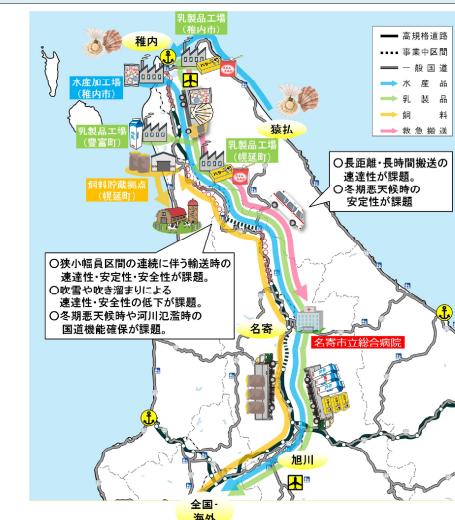
道北地域の目指す姿と概況

道北圏における国道40号は、物流拠点や高次医療拠点が集積する圏域最大の都市である旭川市と、総合振興局や重要港湾稚内港を有する稚内市を結ぶ基幹ルートです。

また、沿線には乳製品工場を有する豊富町や幌延町、三次救急医療機関を有する名寄市があり、農水産物流や救急搬送など様々な交通が利用するなど道北圏内の重要路線となっています。

このような中、現在の地域や道路状況から、地域の将来を見据えた改善すべき課題（道路に関して）は、以下のように考えられます。

地図の課題(※)	農水産業支援(物流)	
	開通区間	事業中区間
農水産業支援(物流)	○宗谷地域は、はたてなどの水産品の漁獲量や生乳・乳製品の生産量が全国トップクラスであり、日本の食を支える生産地。	
暮らし(医療)	○宗谷地域の水産品は、道内の加工品のほか、新千歳空港や苫小牧港へ陸送後、全国・海外へ出荷されるが、国道40号中川～天塩の狭小幅員区間の連続に伴う輸送時の速達性・安定性・安全性が課題。	
災害(防災・減災)	○乳製品は、毎日、物流地帯となる旭川市、札幌市や苫小牧港から全国へ輸送され、乳用牛の餌となる穀物飼料は苫小牧港から稚内港の倉庫へ搬入される各港に配送されているが、吹雪や吹き溜まりによる速達性・安全性の低下が課題。	



2

6-4) 第1回アンケート調査(案)

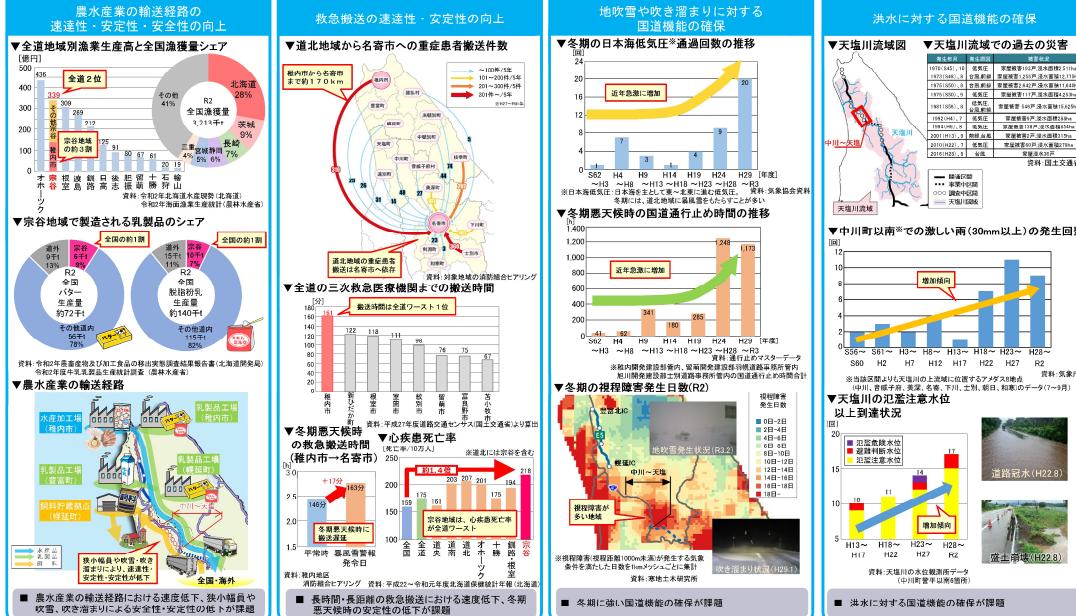
■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

③将来を見据えた改善すべき課題

- ○将来を見据えた改善すべき地域課題の提示
- 対象路線の道路課題の提示

将来を見据えた改善すべき課題

■地域の課題は以下のように考えられます。



中川～天塩間の道路課題

■国道40号 中川～天塩間の道路課題は、以下のように考えられます。



6-5) 第1回アンケート調査(案)

■質問内容・解答欄

問1 道北地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？

次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農水産物の輸送に時間がかかり、地域産業の維持・発展が困難	1	2	3	4	5
B 救急搬送に時間がかかり、万が一の際に高度医療をすぐに受診できない	1	2	3	4	5
C 地吹雪が頻繁に発生し、冬期に国道を安全に通行できない	1	2	3	4	5
D 天塩川氾濫時に国道が浸水し、避難・救援に支障が生じる	1	2	3	4	5

上記A～D以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問2 国道40号中川～天塩間にはどのような道路が必要ですか？

次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農水産物の輸送時間を短縮し、安全に走れる道路	1	2	3	4	5
B 救急搬送時間を短縮し、安定走行が可能な道路	1	2	3	4	5
C 冬期悪天候による影響を最小限に抑え、冬期でも安全に走れる道路	1	2	3	4	5
D 天塩川氾濫などの災害時に機能する道路	1	2	3	4	5

上記A～D以外で、あなたが必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問3 国道40号中川～天塩間についてご意見・ご要望がありましたらお書き下さい

6-6) 第1回アンケート調査(案)

- 回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- 解凍用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお、投函は令和●年●月●日(●)までにお願いします。
- インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道縦貫自動車道 中川～天塩間 道路計画に関する意見聴取 Web回答用ページ
<http://○○○○>
※留萌開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

QR
コード

アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払
留萌局認
000

北海道留萌市 寿町1丁目68番地
留萌開発建設部 道路計画課
北海道縦貫自動車道(中川～天塩間)
道路計画に関する意見聴取係 行

差出有効期間
令和●年●月●日まで
(切手不要)

見 本

■あなた自身のことについて(記入または該当する番号に○印)

住所 〒000-0000 北海道 留萌 市・郡 町・村
性別 ①男性 ②女性 年齢: 40 歳
職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業 ⑫無職
⑬その他()

■自動車を運転する頻度を教えてください(該当する1つに○)
①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道40号中川～天塩間の利用頻度を教えてください(該当する1つに○)
①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど利用しない ⑤利用したことがない

■中川～天塩間の主な利用目的を教えてください(該当する全てに○)
①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等)
⑤観光・レジャー ⑥その他()

北海道縦貫自動車道(中川～天塩間)第1回アンケート回答欄

問1 道北地域地域の将来を見据えた地域の課題について
1-1 以下のA～Dの該当するもの1つに○をつけて下さい。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 物流車両の輸送時間、安全性	1	2	3	4	5
B 救急車両の搬送時間、安定性	1	2	3	4	5
C 冬期悪天候による国道通行止め	1	2	3	4	5
D 天塩川氾濫による国道通行止め	1	2	3	4	5

1-2 上記以外で課題と思うがあれば、ご自由にお書き下さい。
.....

問2 国道40号中川～天塩間に必要な機能について
2-1 以下のA～Dの該当するもの1つに○をつけて下さい。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 物流車両の輸送時間の短縮、安全性の確保	1	2	3	4	5
B 救急車両の搬送時間の短縮、安定性の確保	1	2	3	4	5
C 冬期悪天候時の道路の耐災害性	1	2	3	4	5
D 天塩川氾濫時の道路の耐災害性	1	2	3	4	5

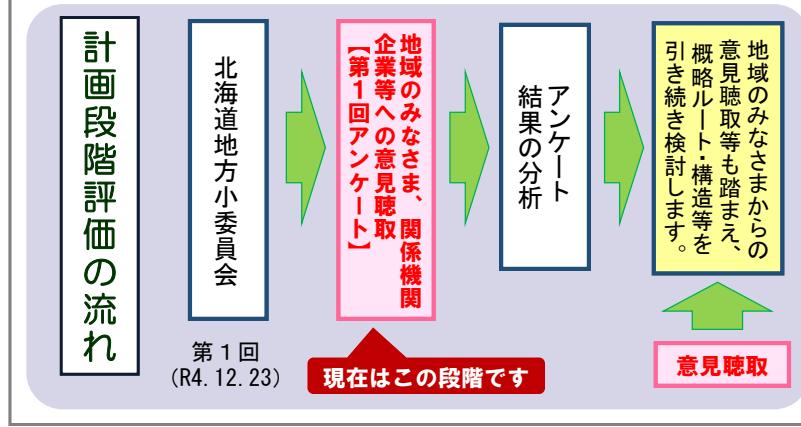
2-2 上記以外で必要だと思うがあれば、ご自由にお書き下さい。
.....

問3 その他のご意見
国道40号中川～天塩間にについてご意見・ご要望がありましたらお書き下さい。
.....

- アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課
北海道縦貫自動車道 中川～天塩間

道路計画に関する意見聴取係
〒077-8501 留萌市寿町1丁目68番地
電話 0164-42-4526



安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、道北地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます)